(第三種郵便物認可) 大正八年一月二十五日

京城日報

一月二十四日夕刊 (朝夕併せて八頁)

本紙定價 一箇月金七十五錢 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之助

第四十一帝國議會

衆議院(二十三日)

▲豫算委員總會 (二十三日朝刊より續く)

原首相の答辯終るや鈴木梅四郎氏(國民)政府の食糧政策如何との問に對し

▲原首相 は先づ生産の增加を圖らんとす之に就ては目下法案を提出せし次第なりと答ふ鈴木氏中等以上の教育を受くる者は全國子弟の一割五分に過ぎず政府は他の八割五分の教育を閑却するの策ありやと問ふ之に對し原首相は目下高等教育の設備を最も急務と認むるを以て之が設備をなさんとすと辯明す鈴木氏更に貧困を喙じ社會政策中最も必要なる防貧救貧の費目豫算に無し政府の所見如何と迫る 原首相は特に條項に目立ちて表れ居らざるも政府は右に就き考慮し居れりと答ふ鈴木氏更に軍需品製造に就き民間工場を利用せざるやと問ふ

▲田中陸相 現在にては民間製品割高なるを以て製造を依頼する能はず但し民間工場の設備の進歩を俟ちて製造を委託すべしと述ぶ鈴木氏飛行機製造に就き政府の所見如何を質す田中陸相飛行機製造に就ては陸海軍當局協議して之に當り居れり尚ほ計畫中の航空學校には民間飛行家の入校を許す可しと答ふ鈴木氏更に日支親善に就て政府の所見如何と叩く

▲内田外相 日支兩國の交の親善は倍々其度を加へつゝあり但し數萬の在留民中には商業上利害の衝突するものあれば或は非難の聲を聞かざるにもあらざるも大局より見て親交を害するが如き事無し發和斷借款貸附に就ては目下右借款の條件につき交渉中なりと答辯す斯くて廿四日も午後一時より委員總會を續行する旨決定し午後四時三十五分散會せり(東京特電)

◇具體的研究時期

國際聯盟案=解決點を見出す

講和會議に關し强國間の同盟政策を固持するクレマンソウ氏と國際聯盟の宣傳者たるウイルソン氏との間に融和すべからざる意見の間隔ありたることは一般の注目を惹きたるが兩者の次第の結果略解決點を見出すに至り今や國際聯盟の基礎條件の具體的研究時期に入りたるを以てウイルソン氏の滿足すべき結果に到達すべし尚ウイルソン氏は米國の立場において歐洲に於ける英佛の國家存立問題を了解する事痛切ならざる嫌ひありしも之等に就き各國の首腦政治家は之が妥協點を見出すべしと觀測さる(巴里電報)

◇國際聯盟案完成

講和會議大委員會に提出

ロバートセシル卿は國際聯盟に關する英國の計畫を完成したるがウイルソン氏の計畫案も既に脱稿したるを以て次の講和本會議にて同問題に關する大委員會開催さるゝを待ち提出さるべしと右兩計畫ともスマッツ將軍の提案の主旨に準據せるものなりと(巴里電報)

◇國際聯盟案討議

二十一日の講和會議にて國際聯盟問題討議さるべし(巴里電報)

◇日本の執るべき方策

=佛國政論家の所説=

講和會議に於る日本全權委員は大體英國の同盟國として行動す可き旨訓令に接し居るは佛國政界の推知する所なるが政論家は別に日本の執る可き方策に二途ありとなし即ち(一)は有らゆる機會に日本の大國たる利益を確保し國際商議に於ける國家の不利益を避くるにあり(二)は單に極東の大國たる地位に鑑み亞細亞に於ける利益を保持するに止め歐洲問題に容喙し關係國の不滿を惹起するを避くるにあり尚日本政府は世界の大勢より見て其何れかの政策を決するの必要ある可しと論ぜり(巴里電報)

◇五大强國と同樣に

支那講和委員五名要求打電

北京政府は陸徵祥氏に宛て五大强國が五名の委員を列席せしむるに支那が二名なりとは不公平なり支那も五名の委員列席を主張すべし若し之れに同意せずば少くとも三名の列席を要求すべしと打電せり(北京特電)

◇獨植民地不還附

獨逸植民地處分案に就ては未だ聯合國間に具體的解決を見ざるも獨逸に還附せざる事は確實なり佛國政界の觀測は各植民地占領國の領有に歸すべしと云ふに一致せり(巴里電報)

◇二群島日本割讓

濠洲反對=秘密條約變化

戰時中締結されたる秘密條約は其後米國の參戰に依りて其性質に變化を來せるものと見做され居りて之に就き米國は極めて强硬なる態度を持し居れり即ち支那及び波斯の協定は消滅すべくカロリン、マアシヤル二群島を日本に與へんとする問題は日本と聯合國との間に協定あるも之には濠洲は極力反對なりと解せらる(倫敦電報)

◇普魯西戒嚴令

獨逸政府は普魯西全土に戒嚴令を布けり(巴里電報)

◇支那當局の曲解

東清鐵道管理問題に就て

支那當局は誤つて曰く東清鐵道の管理に就き支那を除外して日本が之を行ふの理由無し日本は該鐵道の防護任命權を支那に與ふるの權利を既に有せる場合は支那は之を默認する能はずと(北京特電)

◇米銀行團支那財政調査

米國商業トラスト並に市俄古貯蓄銀行副頭取ジョンアボット氏は米國銀行團の委任を受け支那の求需する所を取調べ且つ財政事情調査の爲め渡支の途次香港に來着せり因に同氏の支那滯在期は六ケ月間の豫定なりと(香港電報)

◇佛國機械油解禁

佛國政府は機械油の販賣制限を解禁せし旨我巴里駐在領事より其筋に入電ありたり(東京電報)

◇長春居住鮮人會

長春居住の鮮人李鍾協外十名發起人となり長春居住鮮人會を組織すべく計畫中なるが其費用二千圓は發起人並に發成人にて負擔すべしと(長春特電)

◇モルヒネ取締嚴重

外務省の訓令に基き長春にては最近モルヒネ、阿片の取締頗る嚴重となりたり(長春特電)

◎總督歸任期

東上中の長谷川總督は二十六日朝東京出發歸任の途に就くべしと

◎定例長官會議

廿四日午前十時より總督府第一會議室にて定例長官會議を開き山縣政務總監以下各部長官局長並に所屬官署長參集し重要政務に就き審議せり

◎鮮銀券流通

横山庶務局長談

鮮銀行券總發行高の分野即ち鮮滿洲西伯利に於ける流通額の推測は單に發行高並に回收高より之れを論定し得ざる事情あり何となれば布目に緒く旅客の來往銀行間の現送其他の關係あればなり勞現在の發行高約一億七百萬圓は如何なる振り合ひにより各地に流通し居れるかを知るは會に興味ある問題に付最近發行高と同收高の關係旅客來往の狀況貿易の實際等各種の點より精確に近き數字を得べく關係方面にて研究の結果當らずと雖も遠からざる數字は左の如くなるべしとの結論を得たり

▲發行高分配

朝鮮 約 八千萬圓

滿洲 約 二千萬圓

浦鹽 約 二百萬圓

北滿並西伯利亞 六百萬圓

滿洲は財力の大なる點に於て少しからずやとの疑問あれど何れも西伯利亞地域等の如く長く縮大なる先づ朝鮮の四分の一見當に過ぎざるべし通貨狀態は之れを朝鮮に比し頗る繁忙なるに似たれど外間島並津浦並に濱南地方に於ても若干の流通を見居れど未だ普後久しからざるに付大なる額に上り居らず朝鮮の通貨八千萬圓は生産物輸入品共非常稀有の高値を來せし結果財界の膨脹となりたるためなるが到底現在の財況より見て當分現在の通貨額は維持さるべしと思はる

◎朝鮮統治狀況(六)

大正七年に於ける諸般施設

兵事(續)

演習召集及び簡閲點呼は從來朝鮮に於て施行せられざりしが大正七年四月勅令第七十八號を以て陸軍々人の服務に關する制規を改められ次いで陸軍省令第五號を以て陸軍々人服役令施行規則を改め又同省令第六號を以て

▲朝鮮に於ける演習召集簡閲點呼施行規則を定め四月十八日より實施せられたり而して第十九師團及び朝鮮軍司令部に於ては之を實施するに必要なる事務規程を定め府尹郡守及び島司に指揮命令を下すことゝなりたるを以て事創始に屬し執務上熟練を缺くが故に萬遺漏なからむことを期し五月十三日官通牒第七十五號を以て演習召集簡閲點呼に關する事務規程を施行方を告知し又官通牒第七十六號を以て簡閲點呼許可屆取扱方を告知し實施上齟齬錯誤等のことなからしむるを期したり而して演習召集及び簡閲點呼實施の効果は未だ之を詳かにせずと雖も將に

▲在鄕軍人の心想を緊張して軍事思想の向上を策する上に多大の裨益ありたることは疑ふ可からざる所なり平時に於ける行軍演習は常備團隊所在地附近適宜の場所を撰びて之を行はるゝを常例とす而して大正七年秋季に於ける京畿道内數郡の地に亙りて行はれたる演習に際しては道及び郡の職員主として演習實施に諸般の便宜を與ふると同時に農作物の上に損害なからしむることに注意し又衛生隊の宿舎地に流行性感冒其他傳染病患者あることは見易き掲示をなして軍人の保健上に留意非常せる等以て軍に力を盡したるもの少からず從つて之を見聞せる

▲朝鮮人の風化に好影響を及ぼし進んで軍人の通過を款待し又外國と之を厭ふが如き氣風なきに至れり隣邦露國に於ける内紛の波動は延いて險害を我邦士に流すの虞あるより遂に八月五日を以て我政府は浦鹽方面に出兵の宣言を爲し爾來屢々動員下令ありたるを以て在朝鮮の人心は一般に緊張して時局に處する覺悟を鞏固ならしめたるのみならず朝鮮に居住する在鄕軍人中召集せられたる者亦少からざるを以て之に機繰團體して處理せる事務の概要を擧ぐれば(一)動員下令ある毎に之を依速に道長官に通報する手續きを定め(二)應召者の便宜を圖ることに留意し特に應召者の家族慰問若くは其の救護に關しては地方官署の吏員をして周到なる注意を爲さしめたり而して應召者の家族にして

▲軍事救護法に依り救護を受くる人員の少きは隣保相互の情誼により或は地方篤志家の協力援助によりて各々相應の活計を保持し得るに爲めたり又今次出兵に關し内地人及び朝鮮人を通じて一般に國恤の心向上し全羅北道益山郡の窮農白南信の軍用米獻納を始め恤兵金品の寄贈申出でを爲したる者少からず又軍隊輸送の事あれば之を犒ふに赤心を披瀝し晝夜を分たず其歡送迎に努めたる等其表情洵に掬すべきものあり(此項完結)

◎鮮銀下關支店

開設命令下る

鮮銀行の下關支店は二十四日附を以て朝鮮總督より新設命令鮮銀に下れり尚ほ同店は日く内々銀行にては新設の準備を進めゐたるに付其の開店も案外手間取らず二月十七日の豫定なり

▲井上氏發期 下關支店長に内定せる同行營業課長井上正雄氏は後任營業課長に事務の引繼をなし各種の打合せを行ひし上二月一日京城出發赴任の途に就く又行員は全部決定したるに付き之を率ゐて赴任すべく既に兩三名は下關に出張中なりと

◎釜山發貨停止

大田以北より積出

京釜線に南行の貨物大いに停滯し貨車積みのもの少からざると二十四日より凱旋兵の輸送開始に付滿鐵京管局にては二月二日まで十日間大田以北並に湖南線各驛より釜山草梁着貨物の發送を停止せり

◎醫師試驗施行

醫師試驗施行規則第一條に依り大正八年四月十五日より京城醫學專門學校内に於て醫師試驗を施行することゝなれるが試驗を受けんとする者は來る三月十五日迄に同施行規則第六條に依る願書附屬書類及び經費を總督府警務總監部に提出すべし尚今回の試驗は特に朝鮮文を以て之を受くる事を得る由

◎外米受渡し代用格差の決定

政府の修正認可=米價先安乎

米價調節の一策として現内閣は二月一日以降乃ち四月限りより全國米穀取引所の受渡米に臺灣米並に外國米代用を認むる事とし各取引所に向つて標準米に對する格落ち程度の申請をなさしめ居りしが其の結果農商務省は一二十三日夜各取引所に臺灣米並に外國米の格差は申請を左の如く修正實行するやうに指令を發したり(東京電話)

▲東京取引所 臺灣米格差五圓八十錢(ランゲン白米エスキカ並にサイゴン一等米五圓五十錢)京米一號四圓七十錢

▲大阪取引所 臺灣米格差四圓七十錢(ランゲン白米エスキカ並にサイゴン一等米六圓四十錢)東京米一號六圓廿五錢

▲神戶取引所 臺灣米七圓三十七錢(ランゲン白米エスキカ並にサイゴン一等米七圓)東京米一號五圓六十五錢

▲京都取引所 臺灣米六圓八十錢(ランゲン白米エスキカ並サイゴン一等米六圓五十錢)東京米一號五圓七十錢

乃ち之れを取引所の申請に比すれば東京は臺灣米蘭貢米西貢米東京米の四種共二圓五十錢程下げられ大阪は蘭貢米西貢米東京米とも一圓六十錢方格を下げ京都神戶も略同樣の格下修正となり居れり

▲影響如何 某有力者談 東京取引所の格差が大阪より下位にあるは標準米の品質等の結果にて取引所の申請に基く政府が各取引所の申請に思ひ切りたる修正を加へ臺米外米の標準米に對する格差を縮めたるは結局二月の新市より始まるべき四月限の取組には若干の壓力を加へ米界の氣勢を殺がるゝ事あるべきも先づ發れざるべきか從つて正米にも伴なふや計られず又今回修正認可されし格附の價格なれば後に外米の產地にて產米を買附け之れに運賃手數料を加ふるも取引用のため著しく壓迫を加へらるれば兎に角然らざる限り今日に於ける中限先限の期米相場は必ずしも下向くものとは能はざるが如し

◎染織工業と京仁(上)

關稅改正に伴なふ趨向 京城及び仁川地方に於ける將來の商工業を考察するに際し先づ考慮すべきは明年を以て改正せらるべき朝鮮關稅の影響なりとす其の

▲改正の程度 如何に依りては我半島の財政經濟に至大の影響を與ふるものにして當路者は改正後に於ける處置對策を誤らざることを要す然れども現在未だ改正の内容を發表せざるが故に其程度如何を知り難きも大體に於て内地關稅に併合統一せらるゝものと推定すべき理由なきにあらず若し果して統一主義に準據するとせば輸入貨物に對する現行稅率は著しく加重せらるべく其の曉に於て外國貿易を特色とせる仁川港に如何なる影響を齎すべきや仁川稅關に於ける大正六年度貿易要覽に依れば仁川港の同年度に於ける

▲輸移入出總額 三千百十六萬二千三百大十圓に達す而して仁川の内地貿易が釜山に及ばざるは固より京城にすら劣れりと雖も外國貿易に至つては仁川の獨擅にして特に輸入に於て然りとす若し京城の輸入額を仁川に加算する時は正に二千百五十六萬三千二百三十七圓に達し支那貿易のみにて千二百三十六萬八千九百三十四圓に達す而して將來の改正關稅が特に輸入品中支那より輸入せらるゝ織物類に影響を及ぼすべきものは特に歐米より來るものは絶對に朝鮮に生産し得ざるもの又は朝鮮の開發上必需のものなり何となれば

▲關稅の加重 を免がるゝもの多きに反し支那産織物は保護政策により朝鮮に於て生産し得べきものなればなり

◎仁川期米保合

二十四日前場の仁川期米は大勢保合にて先限三十六圓十錢寄附高値十七錢止め十錢なりき尚ほ正米は底強きを以て下ざりの形なる如し

◎商議豫算會議

京城商業會議所にては大正八年度豫算の編成を了したるを以て愈々二十五日午後二時より評議員豫算會議を開會し決定の上は直ちに其筋に認可を申請すべしと

◎公有水面埋築

仁川船渠株式會社設立發起人奧田貞次郎氏外十一名より其筋に許可申請中なりし仁川府築港締切堤に沿ふ島間の海面四千百五十六坪餘の公有水面埋築工事は造船及び鐵工業敷地(大正九年六月三十日竣功の豫定)として其の埋築方今般其筋より許可の指令ありたり

◎米國大使通過

駐日米國大使モーリス氏一行は廿四日朝南大門通過奉天に向け直行せり

◎篠田一部長發期

平安南道第一部長篠田治策氏は既報の如く西伯利軍司令部附を命ぜられたるが愈二十五日午後一時三十分平壤發列車にて東上夫より同地に向け出發すべしと(平壤)

◎經濟講演會

東亞經濟會主催第二回經濟講演會は二十五日午後四時半より銀行集會所にて左の講演ある由

極東七十五日旅行談 猪狩貞雄

經濟所感 [illegible]部俊吉

人事消息

▲氏家參與官氏(光州慈惠醫院長)廿四日朝入城

八面

◆米問題も愈々議會に上れり、政友會の宣言書中にも民政の安恰なる一句を政綱に入れあるは、畢竟は米問題を指差せしにや、兎に角政友會が、如何なる程度にまで、民生の安恰を圖り得るかは問題也然れども民生の安恰と云へば、米問題の解決位に解釋して差支なき我國にては、未だ問題は單純簡明也。其單純簡明なる時に於て、須らく速かに之れが解決を要せずんば、何時の間にやら、複雜紛糾を生じ、頗る厄介なる生活問題となるべし。速かに根本政策を確立せよ。

◆政友、憲政、國民の三黨、對議の陣形、何れも堂々たり。原、加藤、犬養の三首領の演說を讀めば三人三樣の立場と意見あるは面白し。

◆政治學者は國家政治を、其の目的と、手段との距離より眺めて、之を現實政治と、理想的政治と、空想政治との三大綱に分てり。其の目的に達せる原氏は期せずして、現實政治家の意見を自白し、之れに反し目的點に邁進の途中にある加藤子は、期せずして理想政治家の意見を自白し、姑く超然的態度を執り得る、所謂責任より、多くの自由を有する犬養氏は、期せずして空想政治家の意見を自白せるの觀あり。

◆三人三樣の特徵の、最も顯著に現はれ居れるは、戰後の變革に對する、三人三樣の經營方針也。原氏は唯、教育、交通、產業及び國防の如き今日の狀態にては、到底競爭の間に合はず、と云ひ。加藤子は更に、國民をして成るべく多くの權利と自由とを享有せしめ、同時に其の義務觀念と、共同心とを喚起せしめよと絕叫す。

◆犬養氏に至つては、加藤子の理想政治に更に一步を進めて、虛心平氣に我政治を見れば、其實衙に於て少數政治也、資本政治、貴族政治也、總ての制度は上流に便益を與へ、中流以下は不便を感ず、今後の政治は國民全部を基礎として、全國民の平等利益を圖らざるべからずと、大いに空想政治の域に入れり。吾人之れに對して、サ!、トーマス、モーアの『ユートピア』を讀むの感無きに非ず。

朝鮮學術研究會編

朝鮮 中學校 商業學校 高等女學校 高等普通學校 入學試驗問題集 答案

發行所 京城本町 振替三三三 ウツボヤ書店

大正七年度 四六版二百餘頁 ▲定價金五十錢 送料四錢

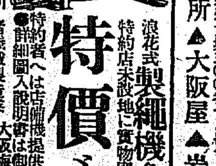
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ

發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次販賣所 ▲大阪屋 ▲岩松堂▼

各博覽會共進會名譽金牌賞受領 諸官署各地農會御用達

浪速式製繩機



特價と貸附

浪花式製繩機 名實共日本一 特約店未設地に貨物廣告の爲百臺を限定

●特約者へは店備機提供、賣捌貸與便法あり ●詳細圖入說明書は御申越次第進呈す

大阪梅田新道西側 諸機械製造業 浪速商會

セキトメボンボン

菓子の如き甘味を與しみつゝ喉氣管の加答兒を治癒し咳嗽を止め息切を防ぐの効を奏するのが此のセキトメボンボンであります。

◇各地藥店にあり……

喘咳患者、音樂家、運動家、旅行家の人々に此世界的名品をお薦め致します。

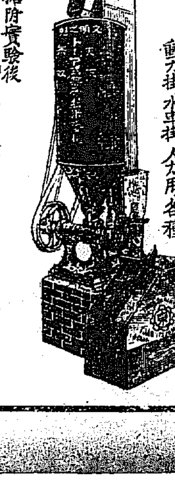
定價 大鑵五十錢 中鑵廿五錢 小鑵廿錢

東京 株式會社 和光堂 大阪

撫順炭 山下製コークス

京城府漢江通十三 特約販賣 實榮商會 電話一〇七番

十俵搗ヨリ百俵搗迄 動力掛水車掛人力用各種



代金は据附實驗後 月賦割拂の便法有、詳細說明書進呈

製作發賣元 大阪西區市岡町 東亞物產社

◉原木新荷着!!!

豆滿江 鴨綠江 產 紅松良材

長二間、三間、三間半、四間 多數 京城著荷

豆滿江材ハ特ニ良材ヲ選リタルモノ目下續々元山海岸到着仕居リ候ニ付遠地ノ御注文ニ對シテハ元山ヨリ直送可仕候

右薄利商談可仕候

京城府岡崎町 須川材木店 電話龍山四三四番 振替京城一〇八〇番

出張所 安東縣一番通 電話四〇五番

原木各種 山林廠製品 建築土工用木材 足場丸太 地材各種

大正七年七月一日改正現行

明治三十九年八月十日第三種郵便物認可

○王世子殿下 御傷心を乗せて

廿四日朝無事御歸城

御慶びの日を前にして突如李太王殿下御兇變の悲報に接し急遽御歸鮮の途に就かれたる李王世子殿下には包むに餘る御傷心を乗せ給ひ廿四日午前九時五十五分一路御平安南大門驛に御到着、直ちに德壽宮に入らせられたり

▼御召車中の殿下 御夢も圓かならず

御左胸に勲一等旭日章を佩び陸軍少尉の軍服の袖に喪章を纏はれたる王世子殿下には廿三日夜関釜連絡船高麗丸にて海路御平安釜山に御上陸直ちに鐵道ホテル貴賓室に入られたるが、素は颯爽たる御英姿も何となく淋しく人をして徐ろに

▼哀愁の涙を絞らしむ

是より先殿下には太王殿下御臨終の模樣報告を兼ね出迎への爲め釜山に急行し居たる權藤、韓両事務官に謁見を賜はりお父君太王殿下御臨終の模樣を具さにお聽き取り相成りたるが殿下には此間始終直立不動の姿勢にてハラ〳〵と御落涙あり悲嘆に堪へざるものゝ如く拝せられたり、それより御少憩の後長途の御疲勞もお厭ひなく十一時三十分釜山發急行列車の前部に連結せる

▼御召車の人となられ

金武官の御同乗にて御歸城の途に就かれたるが沿道各驛には[illegible]何れも奉迎送者堵列し御警衛の任に當り[illegible]なし居たる御召列車は[illegible]野の闇を衝いて驀進驛を發したる頃殿下は喫煙室を出で給ひ寢室に入らせられたるが絶えず愁然として首垂れ給ひ二時を過ぐるも尚ほ軍服を脱がせられず金武官以下大いに御心配申し上げ早々御就寢遊ばさる樣お勸せるに殿下には

▼漸く上着のみ脱ぎて

寢に就かせられたるが流石に御父王殿下の御事ども忍ばれては御夢も圓かならざりしものゝ如く其御心根の痛々しさを推しまつりては随員一同涙を拂ひぬ承はれば殿下には三時を過ぐる頃漸くトロ〳〵とし給ひ天猶暗き午前五時半には早御眼覺めあり喫煙室の安樂椅子に倚り給ひ雪明りに冬枯の窓外を眺められ金武官に對して種々御下問ありたる御模樣なり殿下にはそれより

▼食堂に入り

給ひ洋食を召食りたる上再び喫煙室に入られ寂しく〳〵時を過されたるが恐らく今の御身にはスピードを以て馳る急行列車も牛の歩みの夫より焦燥かしき事に思召したるべし、斯くて一路御平安、南大門驛に御着ありしは豫定よりも三十分遲延せる九時五十五分なりき

▼南大門驛御著 奉迎者何れも涙を呑む

灰色の朝靄深く罩めたる二十四日の午前九時頃から南大門驛前には王世子殿下奉迎の人を以て埋まり玄關には自動車、馬車、腕車の數が刻々に殖ゆる、[illegible]總監が[illegible]と共に自動車から降りられ、やがて久水外事課長の馬車が着く、松永道長官、関李王職長官[illegible]、渡邊高等法院長[illegible]まり同二十五分迄には内野旅團長、[illegible]前田、[illegible]大佐を始め文武高官内鮮の紳士殆んどプラットホーム一杯に姿を並べる。殿下の御召列車は定時から三十分を遲れて九時五十五分に悲しい汽笛を吹いて近づいた。奉迎の人皆襟を正して並べる前に殿下の御召車は停まり、やがて殿下には陸軍少尉の軍裝に勲一等旭日章御佩用の凛たる御姿を車外に現はし給ひ左腕に喪章を巻き劍を杖ついて静かにプラットホームに降り立ち奉迎の人に對して挙手の禮を給ふ殿下は[illegible]のまゝ別出入口に歩を移させ給ふたが雄々しき御顔色の裡にも包み餘る御哀痛の色仄見ゆ奉迎の者皆暗然として涙を呑む、殿下は金武官を随へさせられて御召自動車に移らせ給ひ德壽宮に向はせ給ふ。

▼群集一齊に慟哭

中には土下座する老人もあつた 沈痛なる大漢門前の光景

南大門驛から德壽宮に到る沿道は御出迎ひの男女十重二十重と人垣を築いて電車も停まる程の雜沓、殊に哀しみのサークルに近き大漢門附近は幾千とも知れぬ群集潮まきから殺到して殿下の御來着を待つ、十時十分、先驅の騎馬巡査が遙かの彼方南大門の辻に豆の如き姿を現はすと群集は

▼俄に脱帽

して片唾を呑む天地開として水を打つたるが如く次第に近づき來る馬蹄の音のみ々として耳朶を搏つ、スワこそ御着ぞと思ふ間もなく早くも先驅は大漢門に入り鮮色に金光燦たる梨花の御定紋を打つた殿下の御馬車は騎馬憲兵、巡査の物々しく御衛申上ける前を擁つて吾等の

▼視覺の裡

に現はれた、此刹那、眞に一瞬の暇もなき刹那ながら固を凝して拜しまつればカーキ色の軍服に勲一等旭日章を佩左腕に黒の喪章を纏はれたる殿下には突然の御異變に痛悼遣る方なく殆ど身の世もあらせ給はぬばかり打ち沈み給へる有様恐れ多く、今日此御門を潜らせられる御心の中や如何ならんと推しまつられて。

▼悲痛の情

は一しほ胸に迫る、奉迎の男女は此痛々しき光景を拜すると共に一齊に顔を掩うて慟哭し、中には李王家に縁故を有する者であらう悲しく土下座する老人もあつた、斯くて殿下の御馬車は萬衆哀弔の裡に大漢門に入つたが此の時宮内堵列の歩兵は喇叭を吹き鳴して弔意を表した門前の慟哭は尚熄まず、哀音切々光景沈重、人をして思はず斷腸の思ひあらしめた

▼御靈前に跪坐して 限りなき御悲嘆に沈まる

殿下の御召馬車、哀しみに鎖されし大漢門を潜り光明門より德弘殿に至れば殿下には茲にて御下車遊ばされ、玄關より奥に進まれ阿[illegible]侍り居たる両人の女官殿下の御顔を拜するより早く耐へかねたるが如く聲を揚げて泣き伏したれば殿下には力なく擧手を給ひたるまゝ急ぎ足に別室に入らせ給ふ。別室に於ては直ちに軍服を喪服に御召換へあり、咸寧殿に赴かせられて李王殿下を始め御近親御族近侍の人々に御挨拶あり朝鮮の古例に從ひて左肩の衣を脱ぎ太王殿下御靈骸の前に跪坐して限りなき御哀しみを陳べさせられ御喪餐は御粥を少量召させられたるのみと漏れ承はる

▼府尹御弔詞を言上

府民を代表して金谷京城府尹は二十四日朝南大門驛に李王世子殿下を奉迎せしが後府民を代表して德壽宮に伺候、李王職高事務官を經て李王世子殿下に對し御父殿下御薨去に關する御弔詞を言上する所ありたり

▲薨去と寺院

▼西本願寺　若草町本派本願寺にては廿二日李太王殿下薨去の事を知るや直ちに同教總長松原[illegible]、大聖教會主任[illegible]の二師を馳せて德壽宮に參候名刺を呈して哀悼の意を表し一方[illegible]の兩師に[illegible]本堂の床の上に中陰壇を設けて之に奉安し盛物及び香華を供へたる上廿三日朝[illegible]衆を打揃ひ大法要を勤修せり今後は滿中陰まで阿彌陀經一千部を讀誦して鄭重の敬意を表すと云ふ

▼護國寺　旭町日蓮宗護國寺住職澁谷僧正は廿三日同朝管長派として德壽宮に參殿し朝鮮に於ける同宗を代表して敬弔の意を表し午後八時より同寺に於て別時第一回の奉悼法要を嚴修せり

▼仁川府尹弔意　太王殿下薨去に就て檜垣仁川府尹は廿二日市民を代表し李王職長官宛御弔意を述べるが之に對し長官より謝電ありし仁川市民は各戸半旗を掲げ弔意を表せり

▼釜山の表弔　李太王殿下薨去遊ばされたるにより釜山府民一般には廿四日半旗を掲げ弔意を表せり

王世子殿下御歸城
（左端）南大門驛貴賓室を出で給ひし殿下（上）殿下咸寧殿に御參（下）德壽宮内の奉迎者

○七歳の妹を射殺す

裝塡された銃を倒して

全羅南道[illegible]郡[illegible]面[illegible]里居住の内地人農業丸山七五郎の妹そう（九）は去る三日午前十時頃自宅藁所の傍に立て掛けありし兄七五郎使用の十二番村田銃に誤つて觸れ[illegible]打ち倒したる所裝塡しありたる爲めアッと云ふ間に轟然發射し傍に在りし妹ちさの（七）に命中してちさのは落命せり

○人間改良策◇有能健全分子の増殖

璃西の一部では無能者を除性する 才能遺傳も結婚の相手で……

龍山鐵道倶樂部にて　五島博士談（六）

才能は確に遺傳するものだけれど、如何なる大天才と雖も[illegible]結婚の相手なさの關係で[illegible]例もある。詩人ゲーテの如き自ら云つた[illegible]性格と父より其性情の特徴を受けた、斯く優良なる遺性を所行したに拘らず彼の妻が庸い婦人であつた爲か其子ら並々人間に過ぎず而も親に先だつて死んだから大天才の系統は遺傳せずして絶滅した。さて茲に

◇人間能力の両極端と云ふべき才能と低能との遺傳力を比較すると面白い對照が出來る低能者は數から云つても却々多い尚ほ精神病者をも加へたならば實に人口百三十に對し一人と云ふ割合になる。是等の低能者や精神病者は殆んど全く不生產的の人間であるのみならず英吉利邊では其一人に就き一萬圓乃至二萬圓と云ふ莫大な費用を支出する場合が少くない加之低能者の

◇約七割は公衆の救濟に依つて生存して居ると云ふことである。だから彼等が如何に社會の厄介物であるか判るのに尚ほ一層恐るべきことは斯かる厄介物仲間の出產率の高いことである。即ち英國の調べに依ると

		生產率
普通人	一夫婦	四、六二人
低能者	同	七、三〇人
才能者	同	三、八四人

で社會の厄介者たる低能者や

◇精神病者は斯の如く才能者の數十倍もある上に其出產率が又才能者の二倍に達して居ると云ふことは實に寒心すべき事實である。日本の如き未だ慈善事業の十分發達して居ない國では低能者や犯罪者が如何に社會の厄介物だかを痛切に感ずる迄に立到らないが歐米では學者のみならず有識者

◇慈善事業のやり方では兎角前述の不生產的分子を庇護して其増殖を奨勵することになる。一方文明の向上進展に貢獻する樣な才能者は次第に生存を減じつゝあるが現今の状態である。古代希臘や羅馬の滅亡したのは是等の國が永年に亘つて戰爭の爲め有爲の人物が露と消ゆ、無爲無能の人物が夥しく殘つて繁殖したからだと説く人もある。若し上述の如き社會の現狀を放置するに於ては吾々は或る[illegible]に至らずとも實に哀れ果敢ない社會と成り終るかも知れない。

◇野蠻時代にあつては低能者や精神病者は容赦なく淘汰されて仕舞つて跡を殘さないけれども、文明の進歩に從つて吾人の慈善心發達の結果、斯かる『人間の屑』がだん〳〵殖ゆる樣になる。世界の歴史に於て[illegible]の國が或程度の文明に達すると、漸くにして次第に衰頽の徴が現はれ遂に他の新興國に滅されるのは文明の爲め人間の屑の自然淘汰がなくなり無能者が無制限に増殖することに基因した場合も多々あるだらうと思はれる。此故に吾々は

◇無能有害分子を成るべく減退せしめ一方に於ては有能者健全分子の増殖を計る樣に努めなくてはならぬ。從來の社會改良事業は教育萬能主義の下に立策されたものであるが、近世に至り遺傳なる因子が教育よりも環境よりも尚ほ一層人間の改良に關係のあることが判つて來た。教育も結構だが人間其物の改良が最も必要であることこそ根本的のものだと信ずる。如上の主義を實行するには種々の困難があるだらうが、要するに教育改良策と併せて具體的に云ふと消極策と積極策とがある。消極策とは無能有害の人間を除性（去勢）することである。米國の三四州では之を行ふべき法律を發布してゐる國或地方では既に

◇實行してゐる。さうして除性された當の者も頗る滿足して居ると云ふ報告を發表せられて居る積極策は尚ほ一層困難だがつまり有能健全者の増殖を計るので斯くの如くにして才能者の割合が現今の如く人口四千に付一人でなく四千に付三人にも四人にもなつたならば、人類の將來は誠に光輝あるもので凡つ夫が強ち不可能でないことは生物學の原理から推定することが出來るのである（終）

○リブクネヒト

＝慘殺された＝ レーニンと兄弟の樣な交情 死火山の爆發

『獨逸の社會民主黨は官僚主義の一大[illegible]數十年の間自分等の頭に[illegible]けた官僚軍閥の徒の靴を舐めて居るではないか、獨逸の勞働階級が彼等を足蹴にする[illegible]時は到來したのだ』と叫んだのは、獨逸過激社會黨の頭目リーブクネヒトである、そのリーブクネヒトが射殺されたと傳へられて居るについて東京消息通は語る『カール、リーブクネヒトは千八百七十一年ライプチッヒに生れた

△伯林大學を卒業後は彼の父たるウイルヘルム、リーブクネヒトの感化の下に大に社會主義の宣傳に從ふた、父と熱烈火の如き過激主義を主唱した人であつたが彼は千九百二年、伯林市會議員の頃から過激思想を有するサンヂカリスト等と交際し當時『軍國主義と非軍國主義』と云ふ著書を爲し遂に筆禍を買つて一年の間

△鐵窓裡に呻吟したものである、出獄[illegible]千九百八年に普魯西の[illegible]議員となつた彼は[illegible]獨逸帝國議會の議員ともなつたが、父の友人で獨逸社會黨の長老たるベーベルに對してすら論爭するを辭せなかつた、然し彼の火の如き論議も社會民主黨員を動かす能はず、同黨中の急進派は分離して獨立社會黨を組織するの已むを得ぬことになつたのである。然し獨逸社會黨の長老ベーベルの死に依つて、リーブクネヒト等の新人物が所謂角を矯くる機會を得たのである、彼は[illegible]『此戰爭は資本家階級の爭である』と喝破して居たが

△多數派の爲め十分其主張を貫徹することが出來なかつた然し盛んに著書不斷の出版物を刊行して多數派を攻擊して居た、殊に彼は千九百十四年十二月以降同志のリューレと獨立行動を取つて居たが、之れが今回過激派たるスパルタカス團の起源である、彼は議會に於て多數派の爲めに口を封ぜられて居たが遂に千九百十六年四月八日の議會に際し死の如き[illegible]を開始したのである、即ち彼は火の如き演説を爲しつゝある時に多數派のミュルレルが演壇に驅上がり彼の

△演説草稿を奪つて卓上に投じ大喝一聲した。去れば彼れは同年五月一日伯林に於ける勞働祭記念日に起つた擾動の煽動者と目され、遂に囹圄の身となつたこともあつた、彼は[illegible]國のレーニンとは兄弟の如き交情があつた、今回エーベルト等の社會民主黨と絶縁し、[illegible]に出たのである

○國民精神振興の秋

國際聯盟などは痴人の夢 戰爭は絶えぬ＝佐藤中將談

帝國教育會の席上にて佐藤鋼次郎中將は曰く日本には日本在來の國民精神がある、此の精神は世界の何れの國にもない、其れは三千年來の歴史が之を證明して居る、そして多くの場合は之れを『天祐』といつて來た

△日清日露の戰役に於て勝を博したのは、實に天祐たる國民精神の然らしむる所である今回の世界大戰の結果は、色んな我國民精神を害するやうな思想が流入して居る模樣だ、大學教授も學者も何等異とせず口にし筆にし誤つたる考へを述べて居る、或國は軍備は要らず、徴兵を廢せんとして居るなど變な事を述べ立て居る、ホーマー、リーといふ人は言うた

△十五世紀から二十世紀迄平和の年は十三年に對して一年だけであつた、世界は常に戰爭して居るのである、國際聯盟に依つて世界の平和を保たんとするが如きは正に痴人の夢である、最大強國を作すべし[illegible]が聯盟を犯したら如何する、やがて[illegible]國の如き某國に氣兼ねして、やれ軍備さへ擴張せずにゐると外交で巧くやらうなどといつてゐる、[illegible]むやうな事をいつてゐる、之正に[illegible]になつて甘んずる氣か、

△亡國の兆である、我國の將來は決して安閑として居らる場合ではない、國民精神の振興を要する秋である

○國葬公布

廿四日勅令を以て

李太王殿下の御葬儀は愈々國葬に決し二十四日此旨勅令を以て公布されたるが是に要する費用は十萬圓にして山縣政務總監國葬委員長に任命せられたり（東京發至急電報）

○太平炭坑の慘死體

南線太平驛を距る一里半三菱太平炭山坑内に於て二十二日一名の坑夫慘殺され居るを坑内巡視員が發見し急遽其旨所轄警察署に届出したれば二十三日午前十時平壤地方法院より萩原判事、[illegible]檢事[illegible]及び地方法院より急行檢屍を遂げたるが他殺の疑ひあるも或は自殺にあらざるやとも目下調査中なり（平壤）

○千餘圓横領　愛媛縣生れ當時京城本町三丁目廿八番古物商[illegible]一郎（三〇）は昨年三月中に東京居住古物商近藤佐五郎其他より骨董品九十六點價格九百八十四圓の賣却方依頼を受けたるを奇貨とし之れを[illegible]千餘圓を横領し龍山桃山遊廓に[illegible]消せる事發覺し去十一日本町署に捕はれ二十三日檢事局へ送らる

○車馬粉碎　二十二日午前十時十分安東縣六道溝大孤山街道踏切りにて支那人車挽某は[illegible]車を挽いて通行中折柄驀進し來れる貨物列車に觸れ車馬は粉碎され自身も大重傷を蒙り滿鐵病院へ收容されたり（安東）

○林氏洋畫展覽會　當地洋畫家山本梅涯氏門人林茂氏は既報の如く愈水彩畫研究の爲め近く渡[illegible]の途に上る事となれるより廿五、六の兩日午前十時より午後五時まで京城ホテルに於て同氏作品展覽會を開催の由

○正派[illegible]　正派[illegible]の名手有馬一舉[illegible]として在京同好有志の發起に依り二十五日午後六時より京城ホテルに於て同氏に[illegible]會を催ひ[illegible]番組左の如し　乃木大將、菅公、小松の操、常陸丸、吉[illegible]の二段、九[illegible]、本能寺、小敦盛、石童丸、[illegible]

○信用組合總會　龍山信用組合は二十六日午後一時より新龍山幼稚園（[illegible]）に於て第五回通常總會を開催すべし

□正誤　廿三日夕刊所載[illegible]とありしは誤聞に付訂正す

○奉天鐵工所　奉天藤田九一郎氏は資本金二十萬圓の株式組織にて鐵工所を設立す[illegible]　奉天藤田九一郎氏は豫てより金州に小規模なる製鐵所を[illegible]三有志共同出資を以て計畫し事業を進捗[illegible]出鐵量五噸は優に有るべき見込みなりと（奉天）

○京都の感冒　京都市内に於ける流行性感冒は又復蔓延の兆あり何れも戰々恂々の有様にて市内各署に於いて極力豫防法を講じ居れるが[illegible]

○森山記者退社　釜山支局記者森山[illegible]氏は去る十七日辭職退社せり

○連絡船上陸客　二十[illegible]　二等客（六人）久保川かざる、井口健治、藤川信太郎、同幸子、同朝子、同艶子、高部たつ、同千代子、島田貞一、加藤茂一、[illegible]　同利平、西田金太郎、森田みゆき、[illegible]　三等（三二六）

天氣　京城地方（自二十四日至二十五日）曇少雪後晴
▼京城今朝氣温[illegible]
日出七時四十三分　日入五時四十九分
滿潮　仁川[illegible]

荊妻クメ子儀豫て病氣の處養生不相叶二十四日午前三時死去仕候此段謹告候也
追而葬儀は一月二十五日午後三時自宅出棺[illegible]樂町本願寺に於て相營申候猶御供花放鳥は堅く御辭退仕候
林喜太郎
親戚一同

質　新規開業　倉庫完全
京城若草町三十八番地（金井眼科醫院池上病院前）
麻生質店

緊急廣告
大正八年一月貳拾參日沙里院驛發行倉荷證券第五拾七號
[illegible]
沙里院驛長

○沙里院出張所
[illegible]

○商業登記
[illegible]

京城地方法院

商業登記公告
[illegible]

釜山から(十)

老人の晝寢

酒に醉つたよりも、キの字の氣焔に醉つた。彼奴は何時行つても愉快な男だ、時々溜飲が下る事を云ふ。キの字の彼の氣焔の裏には複雜な問題が大分潜在してゐるらしい。ほじくつて見ようか、イヤ止さう、君子危きに近付かぬがね、アノ字のお伽噺にも大分味がある。二人の會裡から考へて見ても大體の測量は出來る。明日も一ミつキの字に氣焔を吐かせてやらう、ミ考へつゝ寢た。翌日も可成り暖い日であつた。二三知人を訪問して歸つて來るミキの字が最う來て居た。午飯を共にして出掛けた。見給へ此の電車を、ミ早ボツ〱出始めた電車が何うした。何うしたにやないよ、君は斯う歩いて居る內に電車を幾臺見たのか。成る程其う云へば其うだ、大分歩いたのにまだ一臺の電車も見なかつた。ミ共に前年東萊へ行つた時、電車が五時間もかゝつて驚いた事を思ひ出した。車掌が悪いか、乘客が悪いか、だから頻繁な運轉の必要もあるまいが、拙者がミぼけた樣ミ云ふミキの字は「ヒ、」ミ皮肉な笑ひをして拙者の顏を見つゝ、マア何でも好いや、君の樣な解釋して居れば萬事が安全だ、安全第一が當世だから。拙者はキの字が引つかゝつて來ないので、心中密に我策なれりミ可笑かつた。君は此處の電燈を何う見るんだ、ミ相變らずキの字が奇問を發する。何ミも見ない、電燈は何處でも問題になるらんだ、京城でも大分問題になつて居る、君が京城に居たら其れこそ頗る痛快な結論が出來る問題だよ、が此處の電燈は何處製か、京城の事を此處で云つたつて仕樣がないぢやないか、電燈は何う使用して居るのかね。知らぬ、其が問題さね、ミキの字に似合は不愉快な顏を仕て居た。問題も何も其れが問題になるかならぬは其れを聞いたのだ、電氣なごも京城の樣に地盤か、餘程樣に大きな聲をして行くのは閉口だ、電燈値上なんかは今頃出來るものかい、マア此處の電燈の新年宴會の席上、會社の社長さんか誰かが頻りに明滅電燈の理由を述べて居たら、忽ちパツミ停電、宴會は眞暗闇ミなつた喜劇もあつた相な、電燈も却々皮肉をやるわい。之では却つて拙者がキの字に釣込まれ相だな。劍呑々々。何時に似ずキの字は、無言のまゝ歩む、今日はまだ少々油が廻らぬミ見える。ミ云つて其う無暗に一盃やる譯にも行かず、拙者も無言で並んで歩いた。其實何か問題を實見しようミ眼は鋭く四方に輝いて居た。君何時來ても此處は同じ事だね、一般の模樣の變つて居るもので、大體の人は其れで事情を察するが、キの字は待つて居ました、ミ許り早速引き取つて。其處だよ、君は此方は暖かい〱ミ云つて居るが、冬でも暖かいので、晝寢をして居るのだ、實際市況の變つて居ないのは晝寢だ、悠然晝寢をして居るのだ。頭が痛いから默つて居らをしてゐるのだね。其らボツ〱始まりかけた。中心の鐵の樽がサビたつて、淸州目だ、中心の鐵の樽がサビて居るを見給へ、彼處に建つて居る即ち中心の鐵の樽もサビて居るが淸州には却々活氣があるよ。ミ滑らせる、キの字は冷やかに笑ひつゝ、其うかなあ、何ミ云つたつて老人の晝寢だから駄目だ、馬渡の晝寢なら好いが、眠り續けだから始末が悪い。ミ云ふかミ思ふミ、君、彼れは皮肉だよ、彼れは痛快な皮肉だ、ミ急に大聲で云ふ何にかミ見るミ一臺の肥車がある。何んだ、彼れは汚物汲取の車ではないか。拙者には何にが皮肉か分らぬ、汚物汲取の車が皮肉なら、百姓は皆皮肉な筈だ。

長春より

…露貨…亂暴兵…朝鮮米…

露貨の一上一下

暫く四百五十より四百八九十を上下し居たる露貨は支那人間に於て非常の反對をなしたる東淸鐵道發行の小額紙幣を強制的に市場に流通せしむべしミの噂立ちし爲一時六百臺を割りし事ありしが其後漸次緩和し五百二三十迄引戻したるも出來後再び下向ミなり五百六七十を唱ふるに至れるが此は例の舊正月を眼前に控へ居れるため利益を得たる支那雜貨は殆ご取引を中止して決算に着手し唯損失をなしたる者のみが多少にても勢ひを盛返さんミアセり居る位なれば城內昂取高の如きも平常七八百萬に上るものが現今は僅々二三百萬の取引あるに過ぎず市場活氣なき爲目下落するに至りしものにて舊正月を過くれば再び勢力挽回し相當引騰すべきも其れ迄は現狀のまゝ大なる變動もなく押し寄るならんミの見込なり然して昨年は本月中旬より盛んに特產物南下したる爲め露貨の昂騰を告げたるも本年は輸送困難の爲特產物の取引僅少となり自然露貨の需要少く亦昨年迄は東淸線陶頼昭以北の特產物は哈爾賓を經て浦鹽に廻送さるゝもの多かりし爲め延て露貨の取引盛んなりしも本年は雙城堡一帶は勿論哈爾賓附近の地の特產物迄殆んご長春に向け南下し來る爲め其の取引も主として官帖を以て行はるゝ事なれば露貨の必要少く旁々本年は左したる露貨の昂騰を見ざるべしミ云ふ亦支那人間に流通を厭惡せられ居たる千留紙幣は非常に一昨年に涉り百留五百留の舊紙幣を盛んに米國に輸出したる爲め目下は殆んご皆無ミ云ふべき有樣ミなりし爲め已むなく該紙幣を以て代へ且之れを單位として流用し居れり倘ほ三留五留等の舊紙幣缺乏の爲め哈爾賓に於ては普通取引せられ居れるケレンスキ票は長春に於ては約二十留の開きあり(五百五十留に對し同票五百七十留)然も城內にては殆んご之れを以て取引せられ居らざる模樣なりミ云ふ

亂暴兵士の取締

長春城內に於ける支那兵は兎角善からざる行動のみをなし暇令ば己が飲食代を支拂はずして何事か口實を設け却つて暴行するミか或は乘車賃を支拂はずして馬車夫を毆打逃走するミか其他良民を脅迫又は迷惑をかくる事實多く彼等の軍紀風紀の弛廢甚だしく之が爲め折角三百餘にまで瀰展し來れる馬車數が現今の如く百四五十に迄減じたるは兵の暴行を恐れて逃走又は轉職せる馬車夫の多き結果なりミさへ噂さるゝに至りしが過般孟督軍より軍紀風紀の紊亂は幹部の不取締に因るものなりミて嚴重の訓達ありしより本月四日より吉林督軍公署にては特務憲兵二名を以て毎日一名宛午前の列車にて常地に出張せしめ城內外に於ける事件を調査し午後の列車にて歸吉せしむる筈にて斯くして風紀の刷新を圖り之れに違反するものは容赦なく嚴罰に處するものなりミ聞く

哈爾賓ご朝鮮米

未だ白米輸出制限令の解禁されたるにもあらざるに近來哈爾賓露支人間に於て盛んに朝鮮米の取引行はれ居れるのみならず市場に多數の現物ありて長春より馬車輸送を以て哈爾賓に多額の朝鮮米を輸入せし模樣なるより目下其筋に於て取調中なりミ云ふ

世界地圖の變化

志賀重昂

新に興るべき國 國體 變化ご國

國名	面積(日本里程)	人口	備考
ブハラ王國	一四,〇〇〇方里	一,三〇〇,〇〇〇人	支那西域の咽喉也、常備兵一萬一千旋條銃を具す
ヒワ汗國	四,〇〇〇	六五〇,〇〇〇	帖木兒帝國の故土に立つ常備兵二千多くは新式也
カフカズ	四〇,〇〇〇	一四,〇〇〇,〇〇〇	民族種多く合同困難にて南北兩國に分るゝも知れず
アルメニア	八,〇〇〇	一,五〇〇,〇〇〇	八百五十年前土耳其族に亡されたる國也今回再興
猶太	一,一〇〇	四〇〇,〇〇〇	二千年前の亡國今回英佛伊國は其再建國を批准す
ウクライナ	三二,〇〇〇	三三,〇〇〇,〇〇〇	タウリダ 一,六〇〇
リトワニア	一〇,〇〇〇	八,〇〇〇,〇〇〇	クールランド 二,八〇〇
芬蘭	二〇,〇〇〇	三,五〇〇,〇〇〇	リヴォニア 三,〇〇〇 歐羅巴露西亞
波蘭	一三,〇〇〇	一七,〇〇〇,〇〇〇	露墺普三國に分割せられたるもの合同して再建國
ボヘミア	五,〇〇〇	七,〇〇〇,〇〇〇	チエヒ族は中世墺太利に併合今回ボヘミア國再興
南スラヴ	一五,〇〇〇	一三,〇〇〇,〇〇〇人	クロアチア、スラウオニア(前匈牙利領)ボスニア、ヘルゼゴウィナ(前墺匈帝國領)黑山國は塞爾維族なれば塞爾維を中心として聯邦を造る
匈牙利共和國	四,〇〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	各民族獨立して面積人口戰前の四割を失ふ
獨逸共和國	二〇,〇〇〇	七〇,〇〇〇,〇〇〇	戰前の墺匈國
獨墺共和國	七,〇〇〇	七,〇〇〇,〇〇〇	共和國ミなる、面積人口戰前の四割を失ふ
南獨共和國	一,〇〇〇	一一,〇〇〇,〇〇〇	バワリア、ウルテンベル、バーデン、ヘッセ
ラインランド共和國	一,五〇〇	一〇,〇〇〇,〇〇〇	サクセン、チウリンゲン公國、中央獨逸五國
エルベ共和國	一,一〇〇	七,〇〇〇,〇〇〇	エルベ河の流域、ハンブルヒ其他五國二州
青年土耳其	一,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	共和國ミなる、面積人口戰前の三割を失ふ
ライン共和國	一,〇〇〇	三,〇〇〇,〇〇〇	普魯西內なるも思想容れざれば分離すべし
ラインヘセン			大公國なれごも共和國ミなるか又は自ら瑞西に合同
リヒテンスタイン			公國なれご瑞西聯邦の一州ミならん

新義州の工業 (四)

新義州稅關支署調

◆桐葉エキス製造工場◆ 大正七年九月の創立にして經營者は寺尾德安氏資本金は二十萬圓、一箇年のエキス製造高は百三十七萬八千斤價三十三萬七百二十圓、原料は平安北道大寧江岸、鴨綠江沿岸、中部支那、長江沿岸、ハルビン、滿洲等より約九萬斤を買收す、販路は營口等にして動力は蒸汽十五馬力を要す

◆鴨綠江造船株式會社工場◆ 大正六年十二月の創立にして社長は藤田九一郎氏、資本金四十萬圓、一箇年の造船能率は帆船約二千噸、價格六十萬圓、船具は內地大連より、船材は鴨綠江材を使用す、華客は朝鮮、大連、安東地方の運送業者多し

◆中村造船所工場◆ 大正七年二月の創立にして經營者は中村柳三氏資本金一萬五千圓、一箇年の造船能率は帆船一千噸、價格三十萬圓、材料の並に顧客は前者ご同樣なり

◆新義州煉瓦製造工場◆ 大正七年三月の創立にして經營者は安東窯業株式會社なり資本金四萬圓、一箇年の製造能率煉瓦三百五十萬個、瓦三十萬個、價格一萬五千圓、販路は新義州方面なり

◆新義州電氣株式會社◆ 一二月の創立にして資本金二萬圓、電力は七十五キロワット、電燈電力の收入年三萬六千圓、現在の電力供給は我間百二十五基なりミ

◆平北農產株式會社◆ 大正七年五月の創立にして資本金五萬圓、製造高一箇年七千五百枚外に桑苗養成、農具、肥料等をなす一箇年の各種製造品價上一萬五千圓、販路は平安北道一圓なりミ(完)

軍隊の輸送

◆安東驛を通過すべき◆

二十四日頃より安東驛を通過する軍隊は期間約二十三日間にして將校百五十七名下士卒九千七百十二名の豫定なるが到着は多く午前五時にして發車は同七時四十分にて毎日一回位の豫定なりミ(安東縣)

◎水產會社の決算(釜山) 釜山水產會社の利益分配は七萬二千四百四十一圓〇四厘當半期總益金、三萬四千六百二十三圓七十八錢四厘當半期總損金等引三萬七千八百十七圓二十二錢當半期純益金、三千百七十一圓五十九錢前期繰越高配分、六千圓法定積立金、二千二百七十四圓役員賞與金、二萬一千圓株式配當金(一株一圓五十錢)一萬一千六百五十四圓八十一錢後期繰越金を示す

❖魚の耳❖

…(聽感ミ漁業)…

『魚に耳があるか』ミ尋ねたら、或は答辯に惑ふ人が案外澤山にあるかも知れないが、魚にも勿論耳はある、併し、唯あるのは內耳ばかりで、外耳が備はつて居ないから、外からそれが見えないのみだ、尤も魚の耳は、ただ極く不完全なもので、魚に果して音を聽く感覺があるかごうかミいふことに就ては、昔から學者の間にいろ〱の議論があつたが、近頃ブーカー教授は、此の問題に關する多くの文獻を涉獵して、下のやうな意見を發表した。即ちそれによるミ、小囊や聲囊(何れも內耳の一部をなす)の構造がよく分化した比較的高等な魚では、小囊の方が聽感に關係し、卵圓囊の方は體の平衡を司ごるものであらうといふ(一般に耳は聽感器の外に、平衡器としても作用するものである)併し其聽感は甚だ不完全なもので、唯それが音響であるといふことを識別する以上に餘り出るものではない、尙ほそれより一層下等な魚類になるミ、耳の構造は更に一層不完全な原始的なもので、それは恐らく、皮膚に刺戟を與へる位の大きな音響でなければ感知し得ないであらうといふ。魚類の聽感がごうであるかミいふことは、實際上の漁業の方にも深い關係のある大切な問題である。

◎明太魚の春枡漁(淸津) 淸津新浦に於ける春期魚網に依る明太魚特約入札は去る十日魚市場にて執行されたるが其結果一鉄第一期(三月末迄)金四十一圓、第二期(四月中)金二十七圓三十錢、第三期(六月十日迄)十六圓四十錢なりしが右は之れを昨年第一期の十九圓五十錢に比すれば倍額以上の高價を示せり

咸北の市況は隱元豆で引立つ

◎淸津の奧地でも卅萬石

淸津奧地一帶に於ける昨年の白隱元收穫高は十七八萬石ミ云ひ二十萬石ミ云ひ一定せざるも二十萬石內外が確實なるべしミ一般に想像せられ居りしが實際はそれ以上なるが如く現に一月上旬現在に於ける商人の買附たる數量は旭組合八萬五千石內外貿易五萬八千石其の他の小口五萬石計十九萬三千石にして既に一般の豫想高に達する狀態なるが當業者の談に依れば以上の買附額は約七分見當にて殘りの三分は未だ手を染められず故に今後買附け得らるゝもの約八萬石に達する見込にて昨年淸津方面白豆の生產額は約二十八萬石乃至三十萬石にも達すべき見込みなり而して本年咸北國境方面の白隱元豆も豐作にして昨年に比すれば數倍の增加なるに相場も前年に比すれば低廉なりしも相當好況なるより各農家の收得は未曾有ミ稱せらる、程なるより一般金融界は頗る良好にして購買力も著しく增進し商品の賣行も良好なり尙ほ對岸間島方面も同樣白豆の爲め好景氣にて馬賊も本年は出沒少しミ云ふ(淸津)

慶北の養蠶業は今や進んで製絲の時代に入りて

意外に迅速なる進步を見たり

慶北の蠶業は天賦の要素等に適順せるミ當局の指導獎勵其宜しきを得たるミに依り蠶種の改良に、桑樹の涵植に將又生產組織の改善ミ共に逐年著しき進步發達を觀つゝあり今其產繭額の如き去る明治四十三年併合當時は僅に二千二百九石に過ぎざりしもの僅々九箇年後の昨大正七年に於ては實に二萬二千二百九十五石の多額に上り同じく大正七年中の全道產繭額十二萬石中より頭角を現はすに至れり而して慶北道に於ける家蠶飼育の情勢を既往に遡つて見るミきは茲數年間殆んご一樣に年々倍加し來れるを見る、即ち去る大正四年に於ける販賣額は十七萬四千三百七十五圓なるも同五年には一躍三十六萬八千百五十八圓に上り同六年には更に六十九萬三千二百七圓に躍進し昨大正七年に至つて遂に百十三萬九千百二圓の巨額に達せり、此の趨勢を以てするミきは本年は更に顯著なる增進を見るべき事今より想到するに難からず今慶北に於ける昨大正七年末の調査に係る各種蠶業上の統計を見るに年度に於ける桑田の反別は既設桑園反別二千四百廿五町四反步新設見込反別三百七十二町五反步計二千七百九十七町七反步外に山桑利用見込反別百七十一町二反あり、養蠶戶數は春蠶一萬七千五百七十四戶、秋蠶六百七十四戶、蠶種掃立數は春蠶(改良種)[illegible]同(在來種)一萬三千五百八十四枚夏蠶[illegible]枚秋蠶(改良種)七千六百四十八石同(在來種)一千百九十八石夏蠶三十二石秋蠶二千六百十八石計二萬二千二百九十五石なる數字を示せり

叙上の如く慶北の蠶業は輓近最も顯著なる進步發達の蹟を貽せるが其結果は遂に蠶絲工業の勃興を促し近來內地に於ける知名の企業家に依り製絲の企業さるゝもの續出し大邱市の近郊は既に山十組、片倉組、朝鮮製絲等の工場により廣大なる地所を占有され山十組の如きは既に盛んに從業しつゝあるが片倉組朝鮮製絲亦近く事業の開始を見んミするの現狀にあれば大邱の地が蠶絲工業地ミして江湖に喧傳さるゝの期も蓋し遠き事にはあらざる可し(大邱)

先生が兵隊に

◇なつて軍隊の見學◇

嚴寒の一週間を

成北道管內各地內人教員の軍隊見學は一月十九日より同廿五日迄一週間實施の筈なるが其目的は寺運に鑑み嚴格なる軍紀の下に軍人精神の横溢せる營內に起臥して直接其空氣に觸れ其の氣分を味はひ以て良兵良民教育に關する諸般の施設方法を實地に見學し且つ軍事教育の一部講習をも受け軍隊教育ミ學校教育ミの連絡を圖り相一致して其の教育の目的達成に資せしめんにありミ云ふ而して見學教員は約四十名にて入營中は一般兵士ミ同樣の服裝を爲すべし(淸津)

哈爾賓の酒保

◇內地よりは二三割高◇

哈爾賓兵站監部の酒保員の談を聞けば戰地ミは申しましても此の哈爾賓なごは立派な都會で內地人の商店も數多くあり日用品も大抵なものはありますので全く貨物の缺乏して居ります西伯利邊の酒保に比べるミ當地は賣れ高も少いのです、其に今度は經理部の方々も兵隊さんの爲めに日用品ミして無くてはならない塵紙ハミガキ類半紙鉛筆なごを官給なされたので之は私共にミつては打撃で御座います、して見ますミ如何云ふものが一番賣れますかミ申しますミ何ミ申しましても

菓子ミ煙草

で御座います此の監部なごは百人足らずですが日に五圓以上の菓子を賣るのは珍らしく御座いません、其れに次いでは酒類で之れも中々に賣行が宜しう御座います繪はがきなごも郷里の御親類や友人に戰地の御便りを爲さるのでよくハケます

賣上げ高

で御座いますが大抵十圓から二十圓位の處でありまして哈爾賓の酒保は十軒近くもありますが皆んな其位のもので御座います、何にしろこうやつて御仕ひから、食物まで頂いての事ですから精々勉強をして居ります、其して賣値は內地よりの

二三割高

に賣つて居れます、其れでも哈爾賓の街の商店は內地からの運賃や關稅雜費に三割を取られますので內地の價格よりは

五割も十割も高く

賣つて其の利鞘を見て居る譯で御座います、只今の東鐵道が御承知の通りで金を出しても品が間に合はない事がありますので此の町の商人で手前共に持品を賣つて吳れる商人もありますが、私共の賣値で仕入れても未だ

二三割は樂

に儲かるので御座います』兵站監部地下室の酒保には近頃見學に來た早稻田大學商科の學生が店員ミなつて居て二三日前から肉うごんの賣出しを初めた處其が大當りで酒保のストーブの廻りは兵隊さんで賑つて居る(哈爾賓)

小學校兒童寄宿舍

◎全道に三十一箇所あり◎

小學校の設置なき地方に居住する內地人は其子弟を附近の小學校所在地に送つて寄宿舍に入れて小學校へ通學させてゐる是等の宿泊舍には滿八歲以上の兒童を收容して監督には多く兒童教育に老練な婦人杯が其任に當つてゐるが一箇所多きは三十五名位の兒女を收容して僅少な費用で家族的に能く兒女の面倒を見るのみならず、娛樂や運動の方法杯も出來得る丈け兒女の滿足を得る樣にして、ある現在に於ける朝鮮內內地人兒童寄宿舍數は左の如くである

(道)	箇所	人員	(道)	箇所	人員
京畿	一	三五	忠北	二	一五
忠南	五	一九	全北	五	五〇
全南	二	七七	慶北	三	三五
慶南	二	二二	黃海	二	二二
平南	一	二〇	平北	一	二〇
江原	三	一四	咸南	一	三〇
咸北	一	二二	合計	三一	三八二

◎新案把柄製品 龍山三角地金川商會にては把柄製品新案を[illegible]販賣を開始せり詳細は同商會に照會すべしミなり

東西南北

◆氷雪で防壁を築く◆ 大同江結氷以來氷を破り洗濯する者多く氷上通行者の此穴に陷り死する者あるより平壤署にては氷雪にて防壁を築き洗濯場を區劃せり

◆劇寒ミ小學校休業◆ 寒さは北へ行く程寒く過般の最嚴烈なる劇寒(廿一日)に平壤にては警察署の寒暖計零下廿六度に下りたるに小學校は三日間臨時休校す

◆感冒の次に猩紅熱◆ 平壤は今春惡感冒再燃の兆ある上尋常小學校生徒に猩紅熱患者一名を出せしが患者は石川典獄の令息石川太郎(一〇)にて慈惠院へ收容す

◆古物商人の當り歲◆ 何處も同樣乍ら淸津は昨今亞鉛板が滅法に高く幾度も使用せし穴だらけの古物が一枚二圓位で賣れる爲四十四軒の古物商は大當なりミ

◆一圓餘の三人強盜◆ 平南平原郡陰山面檢照里の金國衛(三〇)金鼎耆(三二)李復俊(三三)は同郡金永傑(二八)を毆打して所持金一圓五十錢を強奪せしたる取押へらる

三寒四溫

近頃石油の相場が殆んご天井知らずに奔騰したので之に乘じて憎むべき奸譎な手段を以て地方人を欺く惡漢が現はれました▲それは石油の罐の中へ水を入れたり石を入れたりして賣付けるのであるこいふ事です▲咸南豐山憲兵分遣所で發見した不正石油罐は一斗の罐の中へ一升餘の水を混じ他の石油罐には八百匁許りの石塊が入てあつたが外面は些しも異狀なき樣でありましたが仔細に調べたら口の所へハンダを甘くつけて胡魔化してあつたさうです▲そこで其賣元を詮議した所が北靑方面から仕入れたもので其仕入れた者は住所姓名不詳の馬方から買入れたこいふ事が判明しました▲淸津で近頃東拓駐在所から拓殖資金の融通を受けてゐるもので內々高利に其金を廻してゐる者がチョイ〱あるこの事で東拓は勿論當局者も目下調査中であるさの事です

…成したれば所來明ご共に工場設立し愈々本年中には其の火入れをなすべく、只聞する所によれば原鑛は工場に程遠からず[illegible]鑛質は極めて良好なれば豫定[illegible]に取り掛るべき豫定なりミ

▲金州製鐵所火入式

復び猖獗

患者二十餘名

[illegible]入りて死亡せる者卅五名に達し目下の所病者二百餘名あり市內各署の調査は今尙判明せざるも目下の所患者二千餘名に達し居れり(京都)

[illegible]竹之助、矢々部之、片山恒夫、[illegible]、小林公一郎、馬場泰藏、許斐道、甲斐眞雄、岡仲泉、藤井福一、北田佐吉、岡なみ、山崎重太郎、同しのだ、金岡彥[illegible]十吉、伊藤龍治、岸崎利雄、岡道明、[illegible]、猪俣武夫、原岡安治、香吉伊勢吉、阿部帘吉、高橋治平、大神鐵川郎[illegible]太郎、高野武、[illegible]、モリス米國大使一行四名[illegible]貳等(二十九名)高屋虎次郎、住永孫三、原英彥、高木數、高坂梅太郎、小田末吉[illegible]人參名、參等(九十九名)

氣象豫報

▼氣壓の配置 (示數)(位置)

	位置	示數
低氣壓	支那東海	七六二
低氣壓	全北沖	七六二
高氣壓	蒙古滿洲	七七四

(ひのさ丑) 年九十日 [illegible] 彼岸 三月十九日 九月廿一日 社日 三月十七日 九月廿三日 二百十日 九月二日 入梅 六月[illegible]

流經新藥レスメリン 月經 附止四五ヶ月以內に確實の流經作用を以て目的を容易く遂行し其效果他藥に優越す 藥價一瓶[illegible] 說明書進呈 大阪北區曾根崎上二丁目三六番地 常盤藥院

強胃消化錠 八木田博士島田博士御贊成 アナタの胃病にはマーゲン 本劑の特色 マーゲンは新式胃病藥にして[illegible] 大阪市東區本町五丁目 田畑保藥房

大口歡迎 田村質店 黃金町長橋町入口 電話二九一六番 商品擔保便利取扱

釜山著名商店案內

釜山 島田糸店 電話五七八

內外雜貨御問屋 長岡商店 釜山本町大通り長手通

酒精 燒酎 西貢米 碎米 砂糖 麥粉 大豆 雜食料品 福榮商會 釜山埋立新町

雜貨問屋 釜山大倉町

月刊 淸酒・罐詰 糖粉・官煙 發行 釜山 あづまや商店 電話三五九番 振替京城三九七番

スマート

資本金六百萬圓 積立金 金百貳拾五萬圓 株式會社 十八銀行京城支店 京城府南大門通 電話四二〇番五八〇 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番 同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番 銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候

若き婦人美は…… 純白美乳 の一滴で最大限に發揮! 日本に初めて出來た美乳の姉妹美容料純白美乳を用ひ出してから一日も片時も之を忘れた暇はない程それ程生地からの白色美を發揮する效果が顯著であるミ若夫人、令孃の間に高評嘖々、先づ家庭では美乳を朝夕に常用し生地を十二分に整へた上、外出間際の二三分間を純白美乳でお化粧遊ばせば一滴の力克く自分ながら鏡の中に見惚れるばかりの美人ミなりますから衣裳ミ純白美乳は兩つながら婦人の生命ミ謂はれつゝある如な譯。純白美乳が愛用者間に評判のいゝのも其の筈です、御存じのない方は今直ぐお試し遊ばせ…… 家庭では…朝夕美乳。外出には純白美乳。

眼科專門 京城若草町(總監部通り若草町新道路中程) 金井眼科醫院 電一五五六 新築落成 入院隨意 日曜祭日午前中

最モ信頼三得ル下毒ハ便通劑 治疾丸 百毒下し 本舖 伊勢四日市 加藤翠松堂 振替大阪一七九五 赤堀 四日市 三〇四五

內科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話二二三七・二九〇九番

商況

東京株式特電

東京現物中値

東京期米特電

大阪株式特電

大阪三品特電

大阪期米特電

兵庫期米特電

下關期米特電

雜報

●綿絲布不味 一圓安

三銘先物十一圓九十錢

●正米強持合

多少の割高買ある強含持合

●北鮮澱粉昇騰 五十錢

方騰貴せり

●牛皮は閑散

採算割高に當り手筋の撰り買ひ

●毛皮類強硬 約二倍の高値

割五分乃至二割方の下値

●砂糖小締る

錢方實現せんとする 十七圓五十錢

●水飴躍進す 四十錢方の暴騰

下關相場

仁川正米

仁川期米

▲二十四日前場 (結局保合)

十錢先三十六圓

小安移り

狸せり 十錢ニ閑散

●外米格附許可

二十四日之を修正へて許可

格附少し 格巾縮

市場雜觀

大賣物に自ら織烈に賣手に

下鞘期米に手延べ買ひ來る傾向

説唱へ益々買氣 期米五十圓

機烈 遂に百四五十丁

大波瀾演ずるに期近切迫

仁川米豆取引所仲買人 今村覺次郎

仁川米豆取引所仲買人 齋藤榮之助

仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎

北濱たより

▲底塔けの東汽

仁川取引所 廿四日の三月限

買方滿腹に仲買店の懐内は下贊成

意外な反落

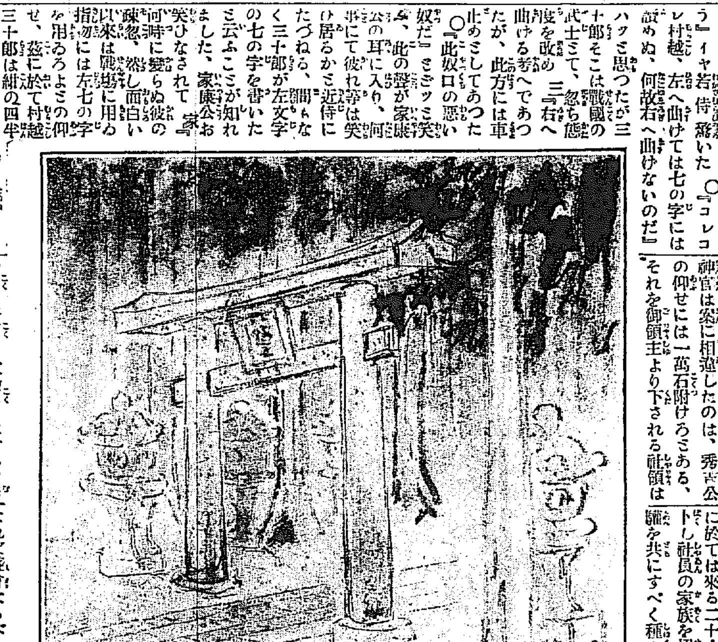
決して少からざる効果も又

仲惱みぐりく

青物小賣値

廿六番角力

毛谷村六助 百二十四席 桃川 桂 玉口演 浪上義三郎速記



○安東縣近事

▲二十五日午後五時より領事館員の送別宴あり二十九日頃出發赴任の筈なり

■非鮮銀招宴 ■開基會愈決定 ■公司の家族會

●團體旅行會新年宴

一月廿五日

演藝案内

壽館 三升家一芳一座

有樂館 滑稽『瞬間勇士』

『愛の支配』

『幽靈船』

獨艇の根據地

大正館 『空中魔』

若年の猿飛佐助

飛行娘

兄ご弟

文樂座

浪花館

黄金館

石川五右衛門

森の閃光

新ハムレット

壽座

りん病 淋滅 ルーデサック 特製品

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき

ミツワ規那鐵葡萄酒

定價 壹壜 金壹圓七拾錢 内地以外は關税運賃を加ふ

香味色佳良滋養力偉大 健胃補血興奮作用卓絶

如斯人は滋養料ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし

發賣品目錄御申越次第進呈 ミツワ石鹼本舗 東京日本橋區橘町 丸見屋商店

MITSUWA COMPOUND GINSENG TABLETS.

100 tablets ¥ .70
500 tablets ¥ 3.00

This new remedy, which contains Iodine and Bromine, is prepared from Ginseng an infallible remedy from ancient time to the pressent. As it contains Iodine, it is efficacious for aneurism, arteriosclerosis, apoplexy and other numerous heart diseases. It is also unrivalled for hysteria, nervous palpitation, vertigo, congestion of the brain and other nervous diseases, because Bromine is mixed with Ginseng, which has in itself the wonderful effects of sedateness.

醫學博士酒井和太郎氏の人參の研究に根基せる

ミツワ複方人參錠

定價 百錠入金七拾錢 五百錠入金參圓 内地以外は關税運賃を加ふ

ミツワ複方人參錠適應諸症候

京城日報

第五版

本紙定價　一箇月金五十五錢　一箇年金六圓　前金申受候
廣告料金　五號活字一行一圓五十錢
發行所　京城太平通二丁目　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之助
電話番號

國葬執行
●內地以外に於ける●無前の典儀●
京城日報

去る二十一日李太王殿下の突如として薨去あらせらるゝや、畏くも室には特に御軫念あらせられ、御見舞品の御下賜ありたるの外、特旨を以て大勳位に菊花章頸飾を加授あり、以て殊遇を表したまひたるが、いよ〳〵薨去のこと發表せらるゝと共に、政府に於ては閣議の議あり、昨二十四日の臨時國議會に其の豫算を提出し、滿場一致の決議を以て之を決定し、首相は直ちに奏聞を遂げ、正式に發表せられたりと聞く。按ずるに李王家御優遇の事は、倂合當時既に勅定ありたるものにして、其の御趣意は『舊韓國の皇帝及び皇族は、帝國皇族の禮を以て之を待ち、子孫をして其の榮錫を世襲し、永く寵光を享けしむ』こいふに在りて、東西歷史上に多く見る所の、征服被征服の關係にあらず、全然合意上の倂合なるを以て、李王家の御待遇も亦特別の思召に依ると明かにしたまへり。而して李王家の歲費の如きも、舊韓國時代と異る所なく、年々一百五十萬圓を給與せられ、其祭祀典禮に比して毫も差異なく、日常の供御も從前の如きも亦削減を加へずして、祖宗崇敬の道を謹すに遺憾なからしめられたり。此特殊の優遇は明治天皇の大御心に由りたるものにして、吾人は唯感激聖慮の深遠なるに恐懼するのみ。さて其後に於いて李太王殿下は德壽宮に御退隱の御身なるも、特に陸軍大將に任じ、大勳位の榮錫を受けたまひたるが、今回ゆくりなき御病氣にて薨去あらせられたるに對し、更に國葬儀執行の御詮議ご爲りたるは、返す〴〵も恩遇の尋常ならざるを窺ふべく、特に國葬の內地以外に執行せらるゝは今回を以て嚆矢とするが故に、全く破天荒の典ごも稱すべく、是れ獨り李王家の光榮たるのみならず、朝鮮千六百萬の舊國臣民に對し、大なる慰藉となるべきことなり。夫國葬儀の執行は、國家に大造ある人に對する最終の典禮にして是まで皇族方に於かせられても、僅に指を屈して數ふべき程なり。乃ち故李太王殿下に對する盛典の執行は、重大なる意味を含めるものなること、推測するに難からず。一言記して以て汎く世に念ぐと云爾。

傳書鳩の效果
●●矢野監理課長談●●

英國にては今回の歐洲戰役の當初に於ては特に命令を發し英國海岸の警官署に抑留し若し止むなくば之に飛翔する總ての鳩類は之れを殺傷せしむることゝなせしが開戰後一、二箇月にして傳書鳩の特に必要なるを認め遂に各方面に於て傳書鳩を使用することゝなれり今其主なる利用狀況を示せば

▲掃海船ご海岸ごに利用　英國の掃海船が各方面の海上に於る獨逸海軍の敷設せる各種の水雷を除掃するに當り新に敷設せる水雷の位置其他危險區域に關し之れを海岸の監督官憲に報告せんごするに際し傳書鳩を利用せしが頗る好結果を奏したりしご云ふ

▲タンク隊ご本隊ごの通信　傳書鳩をタンク隊に使用せしめ頗る効果多かりし實例を示せばモンシーの戰ひに於ては一タンクは頗る好都合に前進し獨逸步兵隊の配置其他の防備狀況を充分に偵察し得たる際其狀況報告を本隊に通信せんが爲め傳書鳩を利用し遂にモンシーを占領したりご云ふ又アラスの戰役に於てはタンク二臺にて敵狀を偵察し獨軍步兵隊が或る小山の背後に密集せるを知り且つ其本隊が廿二哩の後方地點にあるを探知し得たるを以て之れ亦傳書鳩を利用し其狀況を英軍の本隊に通知したるが爲め作戰上多大の利便を得たりごのことなり

▲飛行機にも利用す　飛行者も亦傳書鳩を利用し多大なる效果を生じたることあり曾て某飛行者が英國ダンデーを去る廿二浬の海上に於て墜落せしも傳書鳩を利用し急を海岸の隊に告けしが同傳書鳩は廿二分にて飛翔したりしが直ちに救援隊を急派し二名を救助し得たりご云ふ二人の飛行兵は甚だしく疲れ居りしも救助の時機早かりし爲め無事なるを得たりしもの也右の外傳書鳩は各種の用に供せられしものにして又西部戰線のみならずサロニカ埃及メソポタミヤ等の各方面にも使用せられ瓦斯其他砲火の劇しき場合にも能く其任務を全うし軍事上必要缺くべからざるものなり傳書鳩の運搬する信書は薄く且つ輕き紙に認め一インチ大のアルミニウムの圓筒に收めて之れを鳩の頸部に結付くご云ふ又傳書鳩の使用に就ては志願兵を以て之れに充當し鳩の訓練飼養等に關して特種の注意を拂ひつゝありご云ふ各種の傳書鳩の中白耳義種は最も良好このことなり

混亂の露國
專制化する過激派（二）
從軍記者　早川巳之利

◯過激派が眞先に破壞したものは階級制度であつた、彼等は中產階級を泯し、統治階級を屠り、舊露國をして一物をも止めざるまでに破壞した。將官が逐はれて兵卒が指揮を執り、將校が昨日まで『犬』ご呼んで居た兵卒の下で書記となり、中產階級及び貴族が過激派政府の命令に依つて鑛山に追はれ工夫となつたことなどは、未だ讀者の記憶に新なる處であらう。然るに過激派政府は、地方の代理官を或は任命し、或は團體の選擧を認め、是亦コムミサール及び少數者が、立法、行政、司法の三權を行使し居ることを容認してゐる、又近くはトロツキーが獨裁官となつて專制的色彩を濃厚にし、軍隊に於ては昨年十月以降最高司令官ウアツエチスの令に依り赤衛軍の階級及び俸給を左の如く定めた

階級	俸給	階級	俸給
前線司令官	二千五百留	師團長	二千留
軍參謀長	二千留	經理部長	千七百留
聯隊長	千五百留	大隊長	千二百留
中隊長	千留	小隊長	八百留
分隊長	六百留	兵卒	三百留
傳令、衛兵	五百留	其他	八百留

◇過激思想ご階級制度は氷炭相容れ得ない筈であるが、右の如く階級制度を定め、少數の賢者、人望家、手腕家に依つて、多衆を支配しなければならぬ必要を感じて、漸次右に偏し來ることは一種の皮肉であらねばならぬ、而已ならず彼等は私有財產制を根柢から破壞して土地は地主から奪つて國有ごなし、其家屋は病院學校等の公共機關ごなし、自由ご、權利ご、富ごの一切を平等にして、賢愚強弱の差別なく、生活の安樂を與へんことを期しつゝあるが、彼等の味方は暗愚の民であり、浮浪の徒である。專制政治も、階級も、習慣も、歷史も、悉く破壞したものゝ、いざ非難理想を建設しようごしても殆ご手の施す術だにない、工場は八時間制を採りつゝあるが生產は増加しない、政治軍事經濟上、智識の缺乏を訴へても人材は衆愚のために其影を潛めて了ふ、最近帝政時代の將校をして強制的に軍事を掌らしめたり、智識階級を拉し來つて行政上の智識を借てゐるなど、遺憾なく過激派主義の破綻を暴露しつゝある

◇英佛伊から避難して來つた一商人の談に依るご歐洲戰爭前後に生れた六七歲の兒童に、戰爭前は白パンご云ふものがあつたご話すご非常に驚いて、白パンの食られた時代を黃金時代の如く慕つたさうであるが、白パン時代を追慕するものは獨り兒童のみならんやである。土地は分配されても耕すものがなく、金はあつても買ふものがない。外國の貿易は杜塞され、專制政治が亡びても新なる暴君が現はれ、可愛い子弟は強制的に徵兵され、生命財產は益々不安になり、旅行の自由を要ふに至つた、人心漸く過激派を厭んじ、呪ふに至るは必然で、惨憺なる混亂狀態の下にある露國の社會、政治、經濟等の痕跡は至る處に過激派に對する反過激運動が行はれ、流血の慘を見つゝあるが如きは、注目に値する。要するに過激派は、稍々亞つたものゝ、其の過失を止めざるまでに破壞したが、其茲に至つた原因は國民の鬱積せる不平の爆發で、レーニンやトロツキー一派のマルキシズムが露國民衆一致の主義理想に非ざることは勿論である、將來過激派が樂かるかごう乎、國民は更に幾度革命の洗禮を受けて、眞に民衆の福祉を保護し得る國家を樹立し得らるかごう乎、混亂の露國には更に大なる混亂の波が逆卷きつゝある。

〔雜誌抄〕
●子供の唇の炎症●

多くの子供の唇の廻りが爛れて見るから穢たくしい樣なのを見受けることがあります、殊に其の唇が癢めるものですからなほ舐めて益々赤く黒くなつて誠に可哀さうな兒を見るのでありますが之に對して、醫學博士の話によりますと、アレは腺病質の子供が乾燥した空氣にあたつて自然くちびるが乾くから、ソレを舐めると段々口の周圍に濕疹ができて炎症を起すためにあるのであるから、之が豫防法としては寒くつても火鉢に近寄らぬこと、殊に炬燵などは大の禁物と心得ねばならぬさうです。

財界の新舊人（13）
西海生
朝鮮銀行總裁　美濃部俊吉君（四）

君は官僚氣質が嫌ひらしく、成る事を忌み、自己を高く標置する事を喜ばないやうに見ゆる、內實は兎に角外部からは少くもさう云ふ人ご思へる、銀行で行務をさる時、若くば公式の會合を除く外、會宅や酒席などでは、書記級のものにまで、殆んご同格の言葉でわけ隔てない態度で接觸するらしい故市原氏にも勝田氏にも曾て左樣の例はなかつたのであるから『君頼みますよ』など、總裁に手を握られ、大分感激してゐる行員もある、左樣な行き方はポリシイから來てゐるご云ふ人もある、然しそれは餘り穿ちすぎた說だらう

▲常に平調な心を持してゐる人である、部下を叱るご云ふ事は殆んごないらしい、鮮銀でも總裁に叱言を云はれたものは先づあるまいこの事である、唯ごうも平素の所行がよくないご認めてゐる者に對しては、年に一回位面駁し、批評してその反省を求むる事はなきにしも非ずご。この邊だが、それは極めて稀で、言ひ終れば胸に一物をも殘さない、然し上に向つてはその所信の遂行力が非常に強い、殆ご別人の觀がある、鮮銀の對政府交涉が著々捗るのはそのためだご云はれてゐる

▲君には殆んごアラが見出せぬ、執着力がイクラか鈍いご云ふ人もある、それは君が恬淡な性質を一面に有してゐる所から歸納した說で、事實は果してごうであるか、然諾を重んじ、情誼に厚く、一度目をかけたら決してその人を捨てない、行き屆いた世話をするご云ふのは美點の一つであらう、以前は若いのをズラリご並べ隨分柳暗花明の里に身を浸したこの噂もあるが、京城では酒席がいくらか永いご云ふ位で、殆ご素行上に就て噂を聞かない

▲語學は英獨佛に通じ、殊に英獨は得意である、趣味は繪畫、そして却々旨い、幼時身體が弱かつた爲め、兩親は君を畫家たらしむべく勸め、君亦その意あり、丹青の途にいそしんだ、誤つて銀行屋になつたが、矢張り初めに志した畫道は忘れられず、閑餘繪筆をごるのは一の樂みだ』ご云つてゐる、得意は南畫である、南畫の氣分の一致は僅に君の性格の一面を表象してゐる、寫實や油繪も上手に描くには書く、然し南畫だけの[illegible]は現はれぬやうである

▲總裁は曾て記者にかう曰つた『ごうも銀行の方針なんご云ふものは細かく決定て置いた所で、時勢は中々註文通りに變轉するものでない、寧ろ意表外に出るのが常である。乃で大方針さへ樹てゝおけばその間の取捨按排は臨機應變にやつて行くんだね……』ご、鮮銀今後の活動は何ご云つても朝鮮滿洲並に內地に於ける地盤を一層固め、更に將來の發展ごしては支那北部並に西伯利方面の活動であらう、總裁の胸中既に進出の大方策は醞釀されてゐる事ご思ふ、然も『ごうも鮮銀も豫想を遙かに超ねて膨脹して來た、此の勢ひで將來も更に太らせて行く事は大いに考へねばならぬ』ごは君の談片である、膨張ご緊縮、その間の調和の甘くとれて行く所に、銀行前途の光明があらう、記者は吾が大陸經營の爲より見て、鮮銀の堅實な活動を期待し、總裁の健康を祝るものである（をはり）

日本五大仇討

最も興趣ある新春の讀物
文藝倶樂部增刊

- 姉妹仇討　宮城野信夫　（口繪 戲曲の宮城野信夫 井川洗厓　原色版以下寫眞に全國美人を競ひる十八頁）　貞山
- 天下茶屋　人形屋幸右衛門　玉圓
- 岩見重太郎　天の橋立の本懷　馬琴
- 昇り朝日　日本橋の仇討　伯知
- 義士討入より　兩國橋引揚迄　典山

特別讀物
- ◇三保の夜話……田村西男
- ◇雪の祝町……武田穎塘
- ◇大洗の妓……足立朗々
- ◇宇治の里……中内蝶二
- ◇不忍の雪……木山荻舟
- ◇二見から奈良へ……須藤鐘一
- ◇保津川下り……生田蝶介
- ◇京の酒……岡鬼太郎

名所詩語錄
◇新雜錄　箱根の道草……森曉紅

新小說　銀水引　泉斜汀

定價四十五錢　郵稅二錢　東京 株式會社 博文館　振替二四〇

婦人世界　二月號

- 最新の肺病治療法　村井弦齋　▽失望すれる勿れ▽　斷食療法あり　靜坐療法
- 戰後日本婦人の向ふ所　新渡戶稻造
- 生活問題　◇米飯の代りに麵麭食を勸む　◇同上ご地下室を利用せよ　◇家屋の保存法ご手入の仕方　◇川魚ご貝類の子供向料理法　◇燃料費を損せざる設立の法　◇農家の片手間に養豚を勸む
- 繼母ごしての野村望東尼　實踐女學校長　下田歌子
- 戀人鞠枝の行方未だにわからぬ　笹丸爵馬は催れ反對派の……　△夜思に煩ふ　△反對派の奸策の魔に陷りしか！　△文太郎殿のお脚　△馬殿のお脚
- 小杉天外　靈鐘　本篇愈々爭鬪の卷に入る
- 衞生問題　腦に良い食物療法　佐久間芳名　お灸の效能に就いて　醫學士 櫻田　肺病を書物の力で根治……　下井香潤
- 二月の面白い讀物　◇婦人新聞傳　◇世間噺　◇家庭研究　◇女學生ご女學生　◇日用品の勝負表　◇お雛の人形　◇お琴のお稽古
- 外人の家庭教育　村子
- 求婚廣告に應じての大失策
- 越路の雪物語……掬水生
- 新作寫眞小說　待宵草　非常に面白し　今西芳春
- ◇流行の丸髷ご髮飾　◇毛糸の袖無の作方　◇衣服のシミ拔法　◇御存じですか
- 杜翁傑作小說　復活　故松井須磨子は本篇の女主人公カチユウシャに扮して大評を博したり

定價廿五錢　郵稅一錢五厘　半年一圓四十錢　一ケ年二圓七十錢　東京京橋南傳馬町 實業之日本社　振替東京三二六番

當院盲啞部ニ於テ來ル四月入學セシムヘキ盲啞生徒ヲ募集ス詳細ハ一月二十五日以降發行ノ朝鮮總督府官報ヲ見ルヘシ
大正八年一月二十五日
朝鮮總督府濟生院

生徒募集
一、第一學年生約百名
一、入學手續ニ付テハ一月二十一日ノ朝鮮官報及本校ニ付承合スヘシ
咸興高等普通學校

完全堅牢第一

實用製繩機
價格大割引

特約販賣店　龍山驛前 電車通　酒本商店　電話六〇三番

株式會社常盤商會　第拾回決算報告
（自大正七年七月至大正七年十二月 下半期間）

貸借對照表（大正七年十二月卅一日現在）

科目	貸方（負債）金額
株金	五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
積立金	五五、七六六・〇〇〇
借入金及仕拂手形	一、三三二、五三九・八一〇
假受火災保險料	三七、五二二・九四〇
假受海上保險料	二七、六七四・五〇〇
掛貸勘定	三六、二一一・六二〇
假受金	五、八〇三・四二〇
收入手附金	八、七四七・四九〇
未拂勘定	一八六・〇〇〇
前期繰越金	三二、〇一九・五〇六
當期純益金	九四一、五一九・四一九
合計	七、四七七、九八〇・七〇五

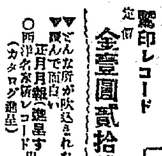
科目	借方（資產）金額
未拂込株金	三、三七九、〇〇〇・〇〇〇
土地建物	一六〇、八〇〇・〇〇〇
什器備品	九九、三六〇・九六五
敷金	二、二五五・〇〇〇
國債證券其他有價證券	五四三、七八〇・九〇〇
銀行預金	五〇五、二八七・三三〇
郵便振替貯金	八、四九一・七九八
商品勘定	三七一、八七六・六二九
得意先勘定	一五一、一四四・〇八五
受取手形	三〇八、六四八・七二〇
工事勘定	三二六、七二五・四〇〇
合辦事業供託金	二〇、〇〇〇・〇〇〇
支店出張所勘定	二三六、一〇〇・五四〇
代理本店勘定	三〇、六二八・五二五
代理店勘定	二六、一一九・二七〇
假拂金	一七二、一二一・五六三
金銀有高	三、六四〇・〇二〇
合計	七、四七七、九八〇・七〇五

損益計算及利益處分

科目	金額
當期益金	一、三七八、〇四一・〇三四
當期總損金	四三六、五二一・六一五
差引當期純益金	九四一、五一九・四一九
前期繰越金	三二、〇一九・五〇六
合計	九七三、五三八・九二五
內 法定積立金	五〇、〇〇〇・〇〇〇
別途積立金	一〇〇、〇〇〇・〇〇〇
役員賞與金	一三〇、〇〇〇・〇〇〇
配當金（年七割）	四五九、七九五・〇〇〇
後期繰越金	一三三、七四三・九二五

右ノ通候也
大正八年一月
東京市京橋區銀座尾張町一丁目一番地
株式會社常盤商會
社長　松方五郎
京城府太平通二丁目
株式會社常盤商會朝鮮營業所

ニッポノホン



新春の和樂を家庭に漲らす
年の始めの芽出たさよ
內には余興に滿つる蓄音器さてお正月の休暇をば
鷲印レコード
手打で嬉しく樂しく暮らしませ
鷲印レコード　定價金壹圓貳拾錢
▼どんな所が吹込まれたか
▼讀んで面白い正月月報（進呈す）
○西洋名家新レコード出來（カタログ進呈）

正月新譜賣出し
新演奏者による新曲種の新音譜
- ○長唄　新曲浦島　唄 芳村孝次郎　三味線 今藤長十郎
- ○家庭ピアノ ヴァイオリン合奏　家庭舞踊　坂本龍子　渡邊?子
- ○落語　吃八百屋　柳家小さん
- ○芝居　忠臣藏 十二ケ月（大序二段目）　竹本…　田中傳左衛門
- ○活辨　金色夜叉　土屋松濤
- ○常磐津　宗清　唄 常磐津松尾太夫　三味線 文字兵衛
- ○薩摩琵琶　月下の陣　永田錦心
- ○俚謠　磯節　安中
- ○小唄　錆び 梅にも春　中村ひさし
- ○大神樂　曲の…　パンカラ新坊
- ○ハーモニカ　ダニューブワルツ スヰートホーム　川口章吾
- ○清元　神田祭　唄 清元…太夫　三味線…

朝鮮京城本町二丁目
日本蓄音器商會
電話二一八三番

朝鮮法令輯覽
朝鮮總督府御編纂　大判脊皮全一冊 約二千四百餘頁　定價拾貳圓　代金引換送料（內地五十二錢 朝鮮七十錢）

豫約募集（前金不要）
內閣記錄課御編纂
本書は朝鮮に施行せらるゝ總ての法令を漏す處なく輯錄せるものにして今回二百部限再版發行す御希望の方は至急御申込まれ度豫定部數に充たる時は謝絕すべし。前金御注文の方は送料內地四十一錢朝鮮六十錢　現品は三月上旬御申込順により送本す。
大判脊皮全二冊 約五千二百餘頁　定價參拾圓　送料（內地八十四錢 海外一圓廿錢）

現行法令輯覽
本書は現行の本邦法令を全部網羅し內容の正確なるは勿論校正嚴峻にして參照上必要なる官報掲載事項をも載錄し別に現行職官表を附し實に本邦法典の最高權威として目さる。
帝國地方行政學會編輯局編纂　全一冊　價壹圓卅錢　郵稅六錢

朝鮮關係兵事軍事救護法令例規類纂
本書は朝鮮に關係ある兵事及軍事救護の法令、官通牒及參考法令を分類收錄し且秘に屬せざる行政上の實例を挿入し附錄として軍事當局の有益なる口演其他屆書式を收錄せるものなり。

帝國地方行政學會

ワシントン萬年筆
正十四金ペン付　ワシントン萬年筆

本品ワシントン萬年筆は正十四金ペン付にて廻轉式なればインキを吸入するにスポイトを要せずインキの出口頗る自由なり而して責任保證付なるを以て極く堅牢に製作なしあれば頭袋に使用することも毫も損傷の心配なく尙委しき說明書は萬年筆と同時送呈す

薄利多賣主義
ワシントン萬年筆定價表
送料　朝鮮內無料　外國二十錢　代金引換料三十錢
朝鮮代理店　京城南大門通一丁目　宮川大學堂　電話一九五九　振替京城一三三
御希望により萬年筆定價表御送附可申上候也

新案獨學 イロハ辭典付　鮮語自在
誰れにもすぐに間に合ひ必ず上手になる理想的新案獨習書なり
一、著者は創意工夫を凝し獨り所謂解釋を主にしたるに加へ特に新案の文字を冠せり
一、上編にはイロハ辭典及朝鮮地名集を付す
一、本文には諺文の組立、文法、國字テニヲハ語格、會話、日用與語…に關する一切を網羅せり
ポケット形 二百頁　定價五十錢　送料二錢　代金引換小包七十錢
發賣元　京城太平通　京城日報社代理部（振替京城三〇〇番）

□畏し大御心

李太王殿下薨去に就きて深く御軫悼あらせ給ふ

天皇皇后兩陛下には李太王殿下薨去に就きて深く御軫悼あらせられ國葬の儀も畏き大御心に基かせられ成る可く莊重に取り行はさせられ式典の如きも李王家の舊典古例を破らざる樣周到の用意ある可からずとの意味の優渥なる聖旨を仰せ出されたりと洩れ承る（東京特電）

第四十一帝國議會

貴族院（二十四日）

▼本會議　午前十時開會諸般の報告後質問戰に入る

▲阪本釤之助氏（茶話會）(一)高等教育機關擴張に就き政府は地方長官に對し寄附金を強要しつゝありと聞く即ち公債借入金に依らざる可からざる地方の醵金に依り計畫遂行の底意に非ざるか(二)政府は官學萬能主義より私立學校の佳良なるものを助成する方針なるや(三)小學中學に對する施設は稼算面に見へざるが這は如何と畳みかけて中橋文相に肉迫す之に對し

▲原首相　は小學中學も決して完備せると云に非ず尚大學專門學校の學科改正其他は臨時教育調査會の終了後別に委員を組織し完全を期せんとす增設費用は決して寄附本位に非ずと述べ更に

▲橋文相　より私立學校を除外せず其援助成に對しては目下考慮中にて本日（二十四日）私立學校令案を提出する筈なり中等教員小學教員優遇法も目下講究中なりと答ふ阪本釤之助氏更に内務省は地方公債に就て彼れ是れと八釜しきに拘らず政府事業ならば御手傳ひを命ずるは如何と詰る右に對し

▲床次内相　は政府に於て施設する事業は成るべく地方に脅威せしめざる方針なりされど淺接敗地の如きは地方民の負擔に俟つこと之れ已むを得ざるところなり併し乍ら決して寄附を強要せずと述べ之れにて阪本氏の質問打ち切りとなる次に

▲高橋作衛氏（茶話會）西伯利鐵道中長春哈爾賓間は日本が權利を獲得せるに拘らず共同管理に置かんとするは由々敷大事なり松花江と黒龍江の交通權設定如何外は曾て西伯利出兵に難色ありしと聞く這は我が優越權に影響するところ尠からざるべし將來出兵の必要あらば出兵する權利ありと思惟するが、獨逸が東漸策を執り露國と一致して事に當らんとする時政府の所見如何、國際聯盟に對する方針如何之に對し

▲原首相　は西伯利出兵に就て今日迄は何等言明せず出兵に就ては同地の秩序回復次第順次撤兵しつゝありと答へ正午休憩（東京特電＝以下夕刊へ）

▼各派交渉會　李太王薨去に就き

正午より衆議院議長室にて各派交渉會を開き粟岡宇一郎（政友）秋元（政友）小山温（政友）古谷久綱（政友）戸井嘉作（政友）尾崎元次郎（所屬）松井文太郎（新政）松田三德（新政）の諸氏出席李太王殿下薨去に就き哀悼の辭を呈する事、御葬儀當日は休會する事、國葬費上程に際しては直ちに可決する事を申合せ午後一時半散會せり（東京特電）

◇國葬に關する諸般事項決定

豫算は不日勅令を以て發布

李太王殿下葬儀に就き二十四日午前十時より内閣會議室にて政府側より高橋内閣書記官長、下條、別府兩内閣書記官、古賀拓殖局長官、入江拓殖局書記官、宮内省側より伊藤式部次長、仙石事務官、大木書記官、岡田式部官、佐伯典禮並に朝鮮總督府より宇佐美内務部長官、神田秘書官參事官會議を開き葬儀に關する諸般の事項を決定せり豫算は廿五日衆議院に提出廿七日貴族院に回附し兩院の協贊を得上奏御裁可を仰ぎたる後同日勅令を以て發布さる可く之と同時に朝鮮總督府令を以て朝鮮内に勅令發布の日より三日間歌舞音曲を停止さる可く本日（廿四）内閣に參集せる右の諸員は恐らく葬儀委員に任命さる可く同委員の任命は二十七日發表の筈なり（東京特電）

◎南洋航路如何

本年各汽船會社の南洋航路は同[illegible]而の貿易發展と相俟て[illegible]たが其後各國航路の配船軍需用に振當られ同方面の航路にして杜絶したるものあつて昨年末にては[illegible]として郵船の瓜哇トラヴタ線[illegible]商船の神戸瓜哇航路スマカル新嘉[illegible]次開始されんとする狀勢であるか6今後は南洋航路は各國間の競爭[illegible]

◇大官貴顯の參列多からん

國葬式參列の爲め大勳位、大臣、親任官待遇公侯爵勳一等宮内官勅任官總代は孰れも渡鮮の筈なり（東京特電）

◇露國關係ウ氏提議

最高軍事會議にて可決

聯合國最高軍事會議は露國に關するウイルソン氏提議を可決せり聯合國と露國各政府代表者との會合は二月十五日プライストウにて開かる可し右に就き發せられたる公報に據れば會合の目的は聯合國と協調を遂げ以て露國をして他國と共同的關係を設定せんとする露國の冀望を容れたるものなり（桑港電報）

◇勞農代表參列許可

最高軍事會議は講和會議へ勞農政府の代表者に制限を附し參列する事を許可し右は英國の勸告與りて力ありしと信ぜらる（巴里電報）

◇露代表派遣通牒

聯合國最高軍事會議は露國各政府に對し聯合國と協議の爲め代表者を派遣す可く通牒を發したりと公表さる（巴里電報）

◇英自治領と内政

英國各自治領は國際聯盟に關し講和會議に重大なる要求を爲す可し即ち外交に就ては英國の支配を承認す可きも内政に關しては明白に其主權を承認せしめ單獨國家として國際聯盟に加入するにあり（倫敦電報）

◇獨憲法草案要項

伯林政府の發表せる新獨逸憲法草案要項左の如し（倫敦電報）

(一)帝國は自決主義に基き現在國家に加へを冀望する國家を以て組織す(二)外交商業銀行勞働土地航空の事務は帝國の管轄とす(三)一切の特權を廢し國民は等しく自由平等なり(四)信教の自由(五)所有地の現狀は國内植民の手續に依り修正さる可し(六)外國語使用自由(七)議會は上下二院より成る(八)兩院議員の改選期は三年とす(九)大統領の任期は七年とし再選を許す事、大統領は宣戰の權力を有す但し條約締結は議會の承認を受けしむ(十)政府には宰相一名國務長官數名を置き大統領之を任命す

◇エストニア軍の捷報

某所來電＝エストニア軍は芬蘭義勇軍の援助に依りナルウアを回復し士氣大いに振るひたる爲め同方面に在りしトロツキーは逃走せり（東京特電）

◇愛蘭獨立宣言布告

シンフエン黨派議會は愛蘭獨立宣言書を布告し英國守備隊の撤退を要求せり（倫敦電報）

◇メーア島軍港司令官

米國ビーチ將軍は近くメーア島軍港司令官に任命さる可し（桑港電報）

◇大谷尊由師

西伯利北滿地方派遣軍慰問の爲め巡歷中なりし西本願寺連枝大谷尊由師は用務を了へ二十四日朝北方より奉天に來り同九時五分發の列車にて大連經由歸國の途に就きたるが驛には在奉信徒の迎送盛んなりし（奉天特電）

◎結局外米相場　正米は伴はず

藤井寛太郎氏談

内地米穀取引所標準米に對するが米は外米の格下程度は夕刊所報の如く農商務省は東京大阪共その申請より

▲二圓五六十錢　を引下げ許可し四月限より實行の事となりたるが右に付不二興業專務藤井寛太郎氏は曰く東京大阪の外米格付申請は予の見る所にては時價に算定る至當のものと考へゐたるが當局にて引下げ認可せしは如何なる理由なるか思ふに外米の格時價より二圓餘も引下げしとすれば定期市場に於ける渡し方に立つ賣方は受渡し米を外米に限る事となるべく從つて定期市場は外米市場と化すべしその結果期米の下押しは四月限より當然現はるべきこれがため

◎正米も　期米に添ひて下落すべきかは問題ならん結局仲小路前農相が期米に壓迫を加へし結果正期米の價格甚だしく擴大したるも漸く最近正期米割符をなせし米價が又復鞘開きをなし正米は期米と反行せず米價調節は刻下緊要の問題なるがその調節は外米の大輸入をなす外なし五百萬石の供給不足ならば五百五十萬石の外米を輸入するやう政府にて努力するを第一とすべし米調の根本は茲にあり自餘の小策は政府にてこらざるを可なりと信ず

◎京電今期決算

京城電氣株式會社大正七年下半期決算は總收入五十四萬六千二百七十四圓九十九錢三厘電車收入三十一萬七千三百六十二圓七十一錢九厘瓦斯收入十五萬三千五百七十八圓六十二錢雜收入二千三百六十七圓十一錢合計百一萬九千五百八十三圓四十四錢二厘にして之れに對する總支出六十萬九千六百七十六圓三十五錢三厘差引利益金四十萬九千九百七圓八錢九厘にして此の内より興業費償却金一萬五千圓を差引きたる今期純益金三十九萬四千九百七圓八錢九厘を左の如く利益金分配すべく二十七日の總會に提案すべし

當期利益金	三十九萬四千九百七圓八錢九厘
前期繰越金	五萬六千六百十一圓二十三錢
合計金	四十五萬一千五百十八圓三十一錢
内	
金二萬一千圓	準備積立金
金二萬圓	別途積立金
金五千圓	使用人退職手當基金
金一萬圓	役員賞與金
金三十三萬七千五百圓	株主配當金（年一割）
金五萬八千十八圓三十一錢九厘	後期繰越金

尚今期總會に於ける特別議案としては監査役西村道彦氏辭任に就ては其後任選擧並に他の二名の監査役も任期滿了となれるを以て改選を行ひ又西村氏に慰勞金贈與の件ある筈なりと

◎鐵道連帶收支

客年十一月中に於る鮮滿鐵道連帶輸送收入額を聞くに受入額四十萬二千六百七十五圓支拂額二十一萬二千八百八十二圓差引十八萬九千七百九十三圓の受入超過を示せり元來本金額は每月收支共殆ど大差なきを常とせるも同月は特別輸送の爲め斯かる結果を見るに至れるものなりと

◎鐵道醫會議終了

滿鐵京城管理局鐵道醫會議は二十二日より本局特別室に於て開催中の處協議は二十三日終了せるを以て二十四日は倶樂部に於て打合會を開きたり

◎鮮農滿蒙移植策（一）

滿鐵地方課技師　攝待初郎氏談

近時我國の食料問題米穀增收問題は延いて朝鮮の農業及び南北滿洲に於ける朝鮮人農業移民の上に深き注意を喚起せしむるやうになつた北鮮地方の農民が滿洲に移住した起原は頗る古く爾來盛衰增減を繰返して居つたが近年亦漸く

▲增加の傾向　を示し今や滿洲在住の朝鮮人は約三十萬人に達し其九割以上は農業に從事して居るが概ね支那地主の小作者で地主及び自作者は僅かに其の一小分に過ぎぬ間島地方の移住鮮人は最も古く且つ其數も亦最も多く近來漸く滿洲各地方に移住擴展して居るが其數は未だ甚だ尠いのを遺憾とする吾人は更に多くの鮮農の滿洲移住を推奬し同時に之が保護の急務を叫ぶものである而して滿洲在住の支那農業者は勿論農業者と稱する者と雖も殆ど稻田耕作の經驗を有せず現今約一萬町歩の滿洲稻田は殆んど皆鮮農の賜にして

▲將來の開拓　も亦鮮人の力に俟たなければならぬ又今後内地人農の移住に隨ひ稻田の開拓の爲めにも一層鮮農の移住が必要である事は言を俟たざる處である然るに在滿鮮人農業者の大部は前述の如く支那人地主の小作者にして正直なる彼等は到底狡猾なる支那人の敵に非ず彼等が數々苦しむ結果は徒らに支那人の餌食と剝へ在住地方に依つては支那官憲の迫害甚だしく或は絶ず掠奪を強迫せらるゝも行きて訴ふる處なく去つて救ひを求むる事を得ざる狀態にある我當局者は速かに此の境遇より彼等を救ひ出すの法を講じ將に滿洲に於ける鮮農を安定せしめなければならぬ或は謂はん朝鮮人を滿洲に移植する事は徒らに排日思想を養ひ彼等の爲めに極めて不幸なる結果を齎すものであると然しながら實際に就て之れを見るに在滿鮮人間には多少の排日思想を懷き居るものなきにしも非ずだが是れ必ずしも深き根柢を有するには非ず稀には政治的不平の分子あるも概ね敗殘者無職者又は勤勞を厭ふ者等で其の結果は深く意に介するに足らぬ

◎晉州自動車許可

慶南晉州郡原田定造より申請中なりし晉州自動車株式會社（資本金二萬圓）は一月二十三日附許可せられたり

◎世界の大勢と軍備（二）

參謀本部第二部長陸軍少將　星野庄三郎氏談

全世界の人心を動搖せしめた大戰も漸く終りを告げて茲に平和の曙光を見るに至つたのは實に喜ばしい次第である今此の世界の大戰を回顧すれば實に感慨無量なるものがある恰も此の大戰勃發して間もなく予は佛國に赴いた當時は恰も有名なるヴエルダンの戰闘が猛烈を加ふるに至つたのである茲に勇猛無比なる鋒先には

▲流石の佛軍　も當り難く今にもヴエルダンの要塞は獨逸の蹂躙に任すべしとは我が日本を始め各國の齊しく評し合つてゐたところである然るに其豫想は大いに反し最後に於て獨逸は再び起ち難き迄の大敗を蒙つた獨逸が今日の全敗を見やうとは恐らく何人も豫期しなかつた事であらうと思ふ予は此の大戰の結果を四分六分の勝と豫想してゐたのであるが予ならずとも多くの人々は此の豫想を持つてゐたであらう

▲佛軍の精銳　實に感嘆すべきものがあると共に世界の驚異たる獨逸大帝國の崩潰たる戰因に就ては充分なる研究を要しなければならぬと思ふ然し其戰因が獨逸内部の崩壞にあつたといふ事は爭ふべからざる事實である即ち戰線に於ては最初より最後迄優勢を持續してゐたではないか決して戰闘に於ては敗れてゐない獨逸が斯かる最後を遂げたのは即ち内部の崩壞が其最大なる敗因であつたではあるまいか形に現はれた所に依ると即ち米國の參戰が獨逸敗の主因を爲してゐる當初に於ける獨逸は

▲米國の參戰　に就ては既に眼中に無き迄に輕視してゐたそして苦しき國内の狀態も最後の勝利の犧牲としていたしかた無しとする所戰爭の初めには甚だ其

▲價値は尠少　なるものであつて最初佛國に行つた時などは米兵自身で完全なる軍團及び師團を獨立編成せしむる事は出來なかつたそこで佛軍の中に割り込ませて戰闘勤務を見習はせてゐたのであるしかるに日進み月移るに從つて諸々共の兵數增加すると共に漸次勤務にも馴れて來たので漸く軍團を組織せしむるを得るに至つたがそれでも猶佛軍の内に割り込んで戰線を形成するの已むなき弱點を有してゐる（東京支局）

◎貨車入込數

客年十二月中に於ける滿鐵線所屬貨車の朝鮮内入込數は八百三十一輛にして特別輸送の關係上前月よりは著しく減少せしが其延日車數は四千二百六十三輛にして一車の平均滯留日數は五日強に當り居れりと

◇恩赦大命下らん

貴衆兩院議員に大銀盃御下賜

憲法發布三十年記念當日を卜し一般政治犯に對し恩赦の大命を下し賜ふ可しと洩れ承はる又同日貴衆兩院議員に特に賜餐の御沙汰ある可きなれど當日豐明殿にて内外臣僚に賜餐の御恒例なるより例年の如く賜ふ木盃に替へ本年は特に兩院議員に大銀盃を賜ふ可しと洩れ承はる（東京特電）

◇東淸線管理加入要求

東淸線共同管理に就き北京政府は孟吉林督軍の要求に依り大官を派遣し聯合國使臣と交渉し共同管理團に加入せん事を求む可しと（北京電）

◇雪か雨か

廿四日午後[illegible]

◎亞佛利加視察講演　南大門通二丁目京城基督青年會館にては廿五[illegible]

仁川期米

▲二十四日後場[illegible]當限出來不申

▲中限一三十五圓二十錢三十五錢二十錢三十錢半均二十五錢二[illegible]

[illegible]

仁川米豆取引所

◇鳥瞰錄◇

飯の問題は今や世界各國の問題となつて獨逸軍が敗れたのも飯の爲過激派の付込むのも飯の爲だと云ふ樣になつた▲其處で一番手ッ取り早い話が人間は三度々々飯を食はねば死ぬるものであるか否やと云ふ問題になる▲此の問題が解決せば一と話である▲と食料の節約なども譯もない話である▲支那の古書などを見ると仙人と云ふ者があつて霞を吸うて松葉を食つて生きて居たと云ふ話があるが果して事實か否かは知る由もないが▲處が斷食しても人間は死なぬと云ふ事實の一例が茲に現はれた▲之れは大に研究すべき問題であつて英米の醫師界では既に大分研究を重ねつゝあるらしい▲此の間六十八歲で死んだ伊太利のスッチは世界有名な斷食漢であつた▲彼の斷食はウエストミニスター醫院の醫師監視中に由りても四十日間斷食を斷行せられて居る▲米國の醫界から招聘せられ研究材料になつた事もある▲彼は今日迄少くとも三箇年以上の斷食をやつて居るは事實らしい▲スッチが斷食の初めは阿弗利加探險の時で食料に缺乏して數日間飲まず食はずに辛抱して居たが始まりで▲愈々經驗を積むで亞弗利加から歸つた時は最う立派な斷食漢として修養が出來て居た▲彼は斷食中には每日三五勺乃至五合位の水を飲む而して不老長生藥と云ふ一種の藥を用ゐて居た▲此の藥は決して滋養の爲ではなく飢餓の苦痛と胃袋の癈疾を防ぐ爲だつた相な▲彼れが死去の病因に就ては一切不明であるが食料缺乏の爲でなかつた事は確であるらしい▲兎に角之れが誰にでも實行出來るとすれば結構な話で食物節用などは問題にならぬ

公告

一、大麥二千貫　一月廿六日午前十一時入札ス　希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ　京城府

公告

一、内鮮人人夫壹千參百八拾參人五分　希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ　京城府

簿記通信教授

▲本邦唯一の通信教授 ▲自宅で習得し成功 ▲目下入學好期

男女生徒募集　本科四ヶ月卒業の上は就職紹介の途あり

大阪市天神橋筋西區二丁目六一九　簿記會計學館　規則書郵券二錢

卵形無煙煉炭生る

木炭の半額であるが頗る經濟な

同煉炭は朝鮮無煙炭鑛株式會社が炭價調節の意味に於て新に製造せしものにして火鉢用炊事焜爐用として非常の好評あり太さ鷄卵二倍大にして無煙無臭火附よく十時間の持久力ありて價格は木炭に比し甚だ低廉なり

定價一箱（凡四百個入）金壹圓貳拾錢

朝鮮無煙炭鑛株式會社京城特約販賣所　京城太平通二丁目　電話七二七番

西崎商會　南大門支店　電話四二三七番

最新刊

料理の友　二月號出來

平和時の婦人の任務　婦人と技藝　デモクラシイと今後の婦人　水に要する一般智識　老人の待つ樂しみ會　食道樂會　節分の御馳走　温い西洋料理　美味な西洋料理　味噌汁色々　▲毎日の食膳を賑はす温いお惣菜十種　▲温い鍋燒の調理　▲氣の利いた季節の御馳走　▲家族團欒夕飯の御馳走　▲一尾のあらからの料理　▲内祝ひに安價な美味の洋菓子　▲美味重寳な餅の御飯　▲安價滋養品料理いろいろ

一冊金二十錢　大日本料理研究會

家禽界　戰後の養鷄　特別號

寒中に一個產卵法……外事記者　資金廿圓で養鷄法……一記者　戰後と鷄卵貯金法……天岡局長　多產鷄選別適中法……一記者　第八回家禽共進會成績發表　戰後の養鷄と國民的覺悟　戰後の養鷄と產業教育　彈丸よりも鷄卵を作れ……大塚次官　戰後東京府の養鷄方針……上木技師　戰後の養鷄と規模の擴張……松川技師　戰後養鷄と婦人問題……三輪田元道

懸賞發表　鷄で儲けた人損した人

本號定價四十五錢

養鷄大觀　養鷄秘訣　鷄山の兄妹　東京　曉鷄聲社

古本と古樂器買入

七十一回新債券　三月初回くじ　二千圓二十本

即賣壹通十圓　割賦賣　▼自二回拂　▲全十二回拂　▲每月くじの樂める組合債券

勸業債券月報　福岡支店

朝鮮教育法規提要　定價七十五錢　送料八錢　朝鮮教育研究會編纂

菊池寛著　心の王國　一、三〇　芥川龍之介著　傀儡師　一、四〇　與謝野晶子著　心頭雜草　一、四〇　山田花袋著　再び草の野に　一、四〇　姉崎嘲風著　文は人なり　五拾錢　加藤美倫著　是丈は心得おくべし　八拾五錢

大阪屋號　京城本町一丁目

京日案内

旭炭團卸小賣　宮崎商店

女事務員二名入用

ゴム玩具

毛皮なめし仕立　太陽ゴム商會

有給社員募集　明治公債

忠新立替　西村商會

御袴仕立專門　山崎商店

樂湯

支局長募集

店員入用　友田運送店

代診入用　直塚醫院

（明治三十九年九月八日第三種郵便物認可）

…各國の…洋方面に配置せられたる船舶總噸數は八百三十萬噸中我國は五十萬噸たるが其中我國の汽船總噸數は八十萬噸を算し列國中第一位を占むるものであるが今や英國彼阿汽船を…現在の處にては…初め各國の南洋方面の航路復舊…に據るに止らずして…南洋貿易上に非常な打擊を蒙むる事に爲るで有らう（東京）

李太王國葬

▼新しき範例示されん　朝鮮固有の式典を加味して

李太王殿下國葬に關し總督府當局者の語る處に依ば『國葬の儀仰出だされたる事に就ては總督府にも通親ありたるが之を如何にして執行せらるゝかに就ては何等の用意も無し孰れ國葬委員の任命を俟ち

▼愼重審議 の上葬儀次第を決定さる可しと云ふや國葬の事務は大體に於て執る事となる可きは勿論なるが東京に事務局を設け京城は事務局出張所となる可きや或は又事務局を京城に置かるゝ事となる可きやに就ても未だ當局に於ては何等の觀測をも爲す事を得ず又從來行はれたる國葬は殆んど總てが神式を以て行はせられたる例に依り

▼或は神式 を以てする事に非ずやと云ふ者あれど元來大喪なれば皇室服喪令成文の規定に據り直ちに之に遵奉して行ふ事を得るも國葬に就ては何等の規定なく但し皇室服喪令第十六條第二項に『親王、親王妃、內親王、王、王妃、女王國葬ノ場合ニ於テハ喪儀チ行フ當日臣民喪チ服ス』とあるも右の皇族の場合にして之を王族に適用す可きや否やは問題なり故に今回李太王殿下の國葬は

▼從來內地 に行はれたる有栖川宮殿下の國葬より最近大山公の國葬に至る十一回の儀禮に範を執り之に朝鮮固有の式典を加へ彼此研究の結果國葬次第を制定し全く新らしき範例を示さるゝ事となる可しと推測せらるゝに非ざるも之こて單なる觀測に過ぎざるなり又委員に任命せらるゝや否や其委員各員の意嚮に存する事なり又之等に對する指揮も多く

▼政府より 仰ぐ事となる可し何となれば目下京城に於ては總督府を始め其他に一人として從來の國葬に干與せる者無く全然不案內なればなり大山公の國葬は大正五年十二月十一日勅令を以て國葬と爲す旨發布せらるゝと同時に十七日葬儀執行の旨仰出され其間僅六日間の短時日に過ぎざりしが今回は種々其れ等とは事情の異なりたるものあり斯様に手輕に手續を運ぶ事を得ず先づ早くとも約一箇月後葬儀執行と見るを至當とせん』と尙山縣政務總監國葬委員長任命に就ては二十四日午後八時迄には何等の公報到着し居らざる由なり

◆埋葬式 執行さる、王世子殿下は靈柩前にて弔問を受けさせられ靈柩に向つて哀哭式を行はせられ靈柩は擯室に葬らる、斯くして午後二時式を閉ぢ午後六時祭官等は遺牌を捧げて德壽宮に安置し官女六七名は闕の別家にて三年間の喪に服したり

李太王國葬委員長　山縣政務總監

▼儀仗兵　弔砲の發射

李太王殿下國葬の際は多分朝鮮守備隊儀仗兵に任じ海軍よりは軍艦を仁川に回航せしめ弔砲を發射せしむ可しと（東京特電）

▼十二回目の國葬　宮様が四人臣下が七人

此れまで國葬になつた例を擧げると有栖川（熾仁）、北白川、小松、有栖川（威仁）四宮殿下を始め臣下としては島津久光、同忠義、毛利元德、三條實美、岩倉具視卿等の外最近には伊藤博文、大山巖の二公であつて木戶、大久保兩卿の如きは準國葬であつたと聞いてゐる

▼伊藤公の 國葬を行ふに當り先帝陛下には時の總理桂公に對し德大寺內大臣を以て『伊藤の葬儀は立派にせよ、併し三條の葬儀を凌ぐことのないやうにせよ……三條は人臣の極であるから』と仰せられたと云ふことである、古來國葬に際し賜はれる誄を拜讀すると何れも立派なもので三條公に賜はつた誄には『殿肱父の如し』と云ふ文字があり伊藤公に賜はつた誄には『股肱之れ倚り柱石之れ任じ』といふ文字があつた樣に記憶して居る流石に

▼大勳勞の ある功臣を慘悼し給ふ賜誄とあつて拜讀する毎に感慨に堪へぬのである、伊藤公の時の祭官長は千家尊弘で葬儀掛長は杉孫七郎子、有栖川宮殿下の時の祭官長は伊藤博邦公で葬儀掛長は花房義質子であつた、祭場は一は日比谷公園で一は豐島ヶ岡御墓所であつたが昔の島津久光、同忠義兩卿の國葬は鹿兒島で行はれたのである、伊藤公、有栖川宮殿下の國葬當日は宮中より廢朝仰せ出され內閣よりは歌舞

▼音曲停止 の勅令が閣令が出たと記憶して居る、そして陸軍では弔砲を發し軍艦では各々半旗を揭げて弔意を行ひ各大公使も式場に參列した、大山公の時は廢朝のみ仰せ出され歌舞音曲の停止はなかつたやうである、國葬に八釜しいのは例の服裝で服制あるものは其れ相當の禮服、服制のないものは燕尾服といふことになつてゐる、尙此までの國葬は以上の十一人であるから今度の李太王殿下は恰度十二人目の國葬になる譯である（某高官談）

▼大山公國葬　當時の行列

大山公國葬の模樣は別項の通りなるが今參考の爲め當日の行列順序を示せば左の如し

警部 馬　警部 馬
警視 馬　警部 馬
警部 馬　警部 馬
軍樂隊　儀仗兵
眞榊 雜色二人　白旗 雜色一人　幣櫃 雜色二人　同　同　同
眞榊 雜色二人　白旗 雜色一人　幣櫃 雜色二人　同　同　同
祭官 狩衣徒步　唐櫃 雜色一人　祭官 狩衣徒步
神饌辛櫃 雜色四人　雨皮 雜色一人　祭官 狩衣徒步
祭官 狩衣徒步　唐櫃 雜色一人　祭官 狩衣徒步
齋主 衣冠徒步　祭官 狩衣徒步
齋主 衣冠徒步　錦旗 色丘 雜色　家從 狩衣徒步
樂師 狩衣徒步　同　同　根越榊 雜色二人　榊 雜色一人
樂師 狩衣徒步　同　同　根越榊 雜色二人　榊 雜色一人
同　同　同　榊 雜色二人　同　勳章　同
同　同　同　榊 雜色二人　同　勳章　同
同　同　勳章　同　同　同　家從 狩衣徒步
同　同　同　同　同　家從 狩衣徒步
（柩側）家從 狩衣徒步
柩 柩車　馬口付　喪主 正裝徒步
（柩側）家從 狩衣徒步　家從 狩衣徒步
家令 狩衣徒步　家扶 狩衣徒步　家族 徒步　親族 徒步
葬儀掛長 正裝徒步　葬儀掛 大禮服
大勳位親任官以下會葬諸員（宮中席次）
第十階以上のもの 徒步　別緣故ある者徒步
軍樂隊　儀仗隊　以上列記外の諸員 徒步
警視 馬　警部 馬　警部 馬

▼盛大なりし朝鮮式の　故嚴妃の御葬儀　王世子は廠の喪服を召されて

李太王殿下御薨去につき畏くも陛下に於かせられては特に國葬の儀を賜ふ旨仰せ出されしことは既報の如くなるが御葬儀の儀式は從來の國葬の儀例に倣はるゝか或は純朝鮮式に依らるゝか又は双方折衷の樣式を採用せらるゝかは未定なるが李王家に於ける御葬儀の一例として明治四十四年即ち日韓併合の翌年八月二日に於ける嚴妃の御葬儀の御模樣を偲べば次の如し

當日は午前五時三十分殯殿たる德安宮出棺、午後二時楊州郡里永徽園に埋葬されたり今其順序を記せば午前四時半王世子殿下李太王殿下の御順にて何れも廠の喪服を著けられ、女官、係員等夫々祭場に參向、慟哭の聲の裡に靈柩は

◆輿の中 に納められ、輿は三百人の人夫に擔がれ輿よりは二筋の綱纏前後に延ばされて人夫は各々此綱を肩にす、輿の上には二名の指揮者あり、宗廟五時半に至れば指揮者の打振る大鈴の音こ共に輿は

◆祭場を 出づ、永成門外に出づれば數百名の會葬者輿を待ち受け赤地に金をもて現はせし名旗を眞先にして大漢門を出で花黃衣の人夫等之に續き蜿々十町餘に亘る葬列は鐘路に至り茲にて靈柩は正輿より

◆副輿に 移さる、輿は宗廟前にて少憩、更に東大門に向ふや祭官等は鐘を叩いて門を祭り、郊外普濟院に至るや復輿を停めて川を祭る、午前八時漸く里なる御墓園永徽園着、擴室は竪に深さ六尺、橫に六七尺、靈柩は轆轤にて釣り下す仕掛けとなり、擴室の左方斷麓には祭室を設け

◆祭室の 傍には天幕を張り昔時を偲ぶ太き結髮の官女等百餘人盛裝して聲を限りに慟哭す靈柩は暫く祭室に安置後更に正輿に移され此間祭官等祭典を執り行ふ、茲に於て王世子殿下は廠の喪服に改められ架に乘じて擴室に至らせられ李堈公李熹公を始め寺內總督其他文武百官內鮮紳士所定の場所に着し

□喪中御尋ね　各殿下へ下賜

李太王殿下薨去に就き二十四日陛下、皇太子殿下並に淳宮、高松宮、澄宮三殿下より李王同妃、李王世子、李堈公、同妃並に李鍝公殿下に對し左記の品喪中御尋ねとして下賜並に御贈進方御沙汰ありたるに就き總督府武官村田少將は二十四日午後一時半聖旨並に御旨を體し德壽宮石造殿並に李堈公兩邸に伺候し御見舞品を傳達す

▲御下賜品並に御贈進品

陛下より李王、李王世子並に李堈公李鍝公に對し
御菓子　一折宛
皇太子殿下より李王並同妃兩殿下に對し
御菓子　一折宛
御料理　五十人前宛
皇太子殿下より李王世子並に李堈公同妃各殿下に對し
御菓子　一折宛
皇太子殿下より李鍝公殿下に對し
御菓子　一折
淳宮高松宮兩殿下より李王、妃並に李王世子各殿下に對し
御菓子　一折宛
澄宮殿下より李王世子殿下に對し
御菓子　一折

▼東宮御悔み

李堈公殿下に對し皇太子殿下より二十四日李堈公殿下に對し御不幸御悔みの電報ありたるに就き總督附武官村田少將は同日午後二時同邸に伺候傳達せり

▼聖恩の深きに感泣　子爵　趙重應氏談

李王家が磐若の奉きに置かれたのは偏に我皇室の御稜威の然らしむる處こして我々朝鮮人は齊しく感泣して居た、然るに李太王殿下薨去に際し勅令を以て國葬仰出されたに就ては我々朝鮮人は誠に申し上げやうがない程聖恩の厚きに感泣し奉り

◆奉公の念 を强ふする次第である、委員長には山縣政務總監が任命され而も國費十萬圓を支出せらるゝといへば其の盛儀のほども偲ばれる、尙び下々に至るまで內地人の…からは徒らに形式に過ぎぬ樣な儀が行はれる、だから昔し君主の大喪の如きは其の國民が先君の遺德を普しこし且つは最後の御奉公こして臣民遠近より集り

◆大擧には 長き綿を附これを曳いて哀號々々こ泣いて慟哭したと云ふ事が朝鮮の舊き本にある今回の國葬は儀式の如何なるものを採用されるや我々の容易に測り知る能はざるも舊主に對する渝々の至情を思ふて此處に至らば遂分なりこも此の古式を參酌し李人が故殿下に致す追慕の念を足させなば延いて我皇室に對し奉る內鮮國民思想も渾然こして此處に

◆君民一體 の美しい思想の統一が實現するだらうこ信ず

□廢朝仰出されん　歌舞音曲は停止か

李太王殿下國葬には廢朝仰出さる可く從つて拜謁謁見等の朝儀を廢せらるゝやに洩れ承はれるが尙ほ皇后陛下に於かせられても…何等の御催しも…御追悼の意を表せらるゝやに洩れ承はる又下の國葬には歌舞音曲停止の事無きも、李太王葬當日は皇族に準じ停止せらる可しと（京城電）

…るものである、古來朝鮮人は吉凶何事に依らず流言蜚語を放つ國民性にて非常に惡い缺陷がある、今回故殿下の御不幸に際しては斯樣なる衆忠も幸ひにして皆無なりしも御葬儀の際に於て斯る流言蜚語を放ち民心を亂すが如き者を出すが如き事あらば斯くまで

◆大御心を 惱まし給ふ至尊に對して恐懼に堪へざるは固より內地同胞に對しても申譯ない次第であつて我々朝鮮民族は互に相戒め斯かる方面に徹底したる注意を拂つて下鮮民の儀表たるに努めねばならぬ

▼王世子御使　總督府訪問

朝御歸城遊ばされたる李王世子殿下には午前十一時三十分武官を御使として總督府に遣はされ山縣政務總監を訪問御歸着の御挨拶並に李太王殿下薨去に對し畏くも種々の優渥なる思召に對し御禮言上執奏方を依賴せられたりと

▼思ひ起す大正五年の師走　森嚴を極めた大山公の國葬　葬場は神式を以て營まれた

國葬で思ひ出すのは大山公の國葬である、大山公の國葬は忘れもせぬ大正五年十二月十七日を以て執行された夫迄に種々の儀式もあつたが愈々其當日になると午前七時から

◆本邸に 於て莊嚴悲痛なる發柩祭の儀が行はれ、千家尊福男の哀切なる祭詞に次いで喪主柏一拜禮玉串を捧げ家族近親等も禮拜し、親しく柩前に跪いて哀別の淚を濺つた此儀式は僅々十分內外で終り八時五十五分靈柩は愈本邸を發した其行列は蜿蜒數丁に亘り近衛軍樂隊を先頭に騎兵一個中隊步兵三個大隊の儀仗兵が續き眞榊、白旗、神饌、唐櫃の後から齋主祭官

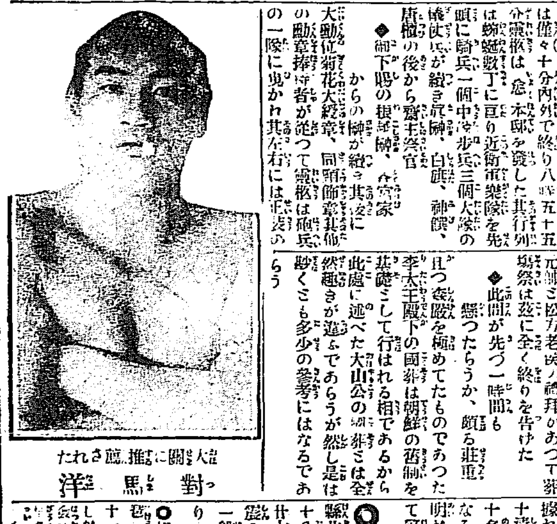
◆御下賜の根榊、御宮家からの榊が續き其次に大勳位菊花大綬章、同頸飾章其他の勳章捧持者が從つて靈柩は砲兵の一隊に曳かれ其左右には近衛の儀仗兵砲兵の順に續いて鎭り鳴く『哀しみの曲』こ共に順路を粛々日比谷なる祭場に向つた靈柩が日比谷に着いたのは九時頃先着の未亡人以下參列の諸員に迎へられて

◆束ね竹 の門門を入るこ弔砲轟々こして撒樂の空に打ち碎き祭場內で奏する道樂の音に和して一しほの悲しみを增した、葬祭は九時四十分から神式を以て營まれた、勅使御使を首め各皇族、各國大公使以下參列諸員起立の裡に千家齋主は恭しく祭詞を白し次ぎに誄詞を奉讀し終るや勅使、御使、各皇族殿下の順に玉串を供へ次に喪主未亡人等遺族の人々が玉串を捧げて禮拜し最後に山縣元帥こ松方老侯の禮拜があつて葬場祭は玆に全く終りを告げた

◆此間が先づ一時間も經つたらうか、頗る莊重且つ森嚴を極めてたものであつた李太王殿下の國葬は朝鮮の舊制を基礎こして行はれる相であるから此處に述べた大山公の國葬こは全然趣きが違ふであらうが然し是は尠くこも多少の參考にはなるであらう

□百科辭典に現はれたる國葬

コクサウ　國葬　國家に功勞ある人の死した時、國家費用にて政府の行ふ葬式、會送者は文武官共に大禮服を著し、黑紗を左腕、帽及び劍の柄等に纏ふ又武官は肩章をも覆ひ、文官は又白色の裝飾及び白手套を用ひ官吏以外の公職にあるものは燕尾服にして文官こ同じく喪裝す勳章は本綬を佩ぶるものこす



大關に推薦されたる　對馬洋

◆木浦の哀悼會 李太王殿下薨去に付き曹溪宗禪寺に於て、羅尾寶師は御葬儀の當日に於て朝鮮人僧侶こ協同哀悼會を催すべく準備中

○對馬洋を大關に推薦　番附會議の決議

東京大相撲協會は廿三日上野精養軒に番附會議を開きたるが前場所一敗張出關脇對馬洋を大關に推薦するに決し午後一時之を發表せり（東京特電）

○越後丸離礁　清津に廻航

一月一日咸北富寧郡連川沿岸にて坐礁せる朝鮮郵船備所越後丸は十八日救助船大浦丸現場に至り引卸し作業中なりしが廿三日無事引卸し廿四日清津に曳航來れるが修繕の上二月一日頃更に內地に曳航す可しと（淸津特電）

■誤電訂正

二十二日午後打電せし李太王殿下薨去に關する李完用伯の談話中『今回の事に關しては預言するを得ざる理由を有す』とあるは記者が通譯より誤聞せしものにて事實は『如何なる御病氣であつたか懸念に堪へぬ實に心痛の至りなり』こいふにあり茲に訂正す（平壤特電）

○再び獨逸へ　邦人俘虜上陸を拒まる

獨逸に抑留されて居たる支那人及び日本人百名は當地に到著したるも上陸を許されず獨逸に送還されたり（ロイテル電報）

○山西の肺ペスト

廿二日支那駐屯軍病院長より門司陸軍運輸部出張所に着せし電報に據れば支那山西省太原府を距る六十淸里の地點なる林子園に每日五十名六十名の死者續出し死因不明なるより檢鏡の結果肺ペストと判明せり同地は北京との交通頻繁なるて嚴戒を要するものありこ

○長野縣の强震

長野縣北安曇郡大町に二十一日夜六時十分地震あり上下動强くして六時廿七分同七時三十二分にも强き震動あり人々戶外に逃出し一町一般に火の用心を爲して警戒せり（長野電話）

○旭町會溫習會

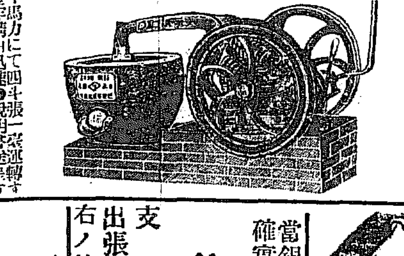
市內南山町筑前琵琶教授旭阿野村旭は斯道研究の爲め昨年十一月上京家に就て專ら習練中なりしが本月初旬歸城の上今回一應斷道の上達を期し披露の溫習會を…町…館にて…催すべしと

自動車　本校卒業生愈々不足校外生と雖も運轉手技師販賣員となり收入莫大なり校外生及校內生大募集規則送　東京市京橋區　東京自動車學校　大阪市西區市岡町に分校あり

目ニ見ヘテ　ズングトキク　シマズ　イタマヌ　井上博士ノ　ロート目藥　五十五錢　廿五錢　十五錢

正派薩摩琵琶會　此回正派薩摩琵琶一流ノ泰斗有馬良熊氏ハ滿鮮視察ノ途次入城セラレシヲ幸ヒ在京城好有志發起トナリ南山町京城ホテルニ於テ來ル二十五日（土曜日）午後六時ヨリ開催ニ付同好ノ諸士奮テ御來會アレ　會費金參拾錢　有馬良熊氏後援會

辻野式スプリング精米麥機　動力半馬力にて四斗張一臺運轉す　機械堅牢精白迅速　說明書送呈す　大阪北區梅田橋二丁目　砂川商會



呉服屋の半値段で買る譯　織元仲買市場問屋呉服店需要者　この樣に多數商人の手を經て皆樣の手に渡る時は非常に高價となる弊店は皆樣の御便利を計り（年額四千萬圓の織物大產地）足利より直接販賣開始以來各地の需要者間に大評判を博して居ります工場特製の大正八年式何れも一等選りの珍柄を左記破格特價を以て御提供致します引續き御用命を願ひます御注文は品名及び男女別年齡を記し御一報次第珍柄の良品選定の上代金引換便にて御送り致します
特產純絹木大島絣　十三圓五十錢　羽二重友仙羽織裏地　五圓五十錢
大島絣二等品　八圓五十錢　織子羽織裏地　三圓八十錢
特製高貴織紳士向　十一圓　紋織友仙羽二重　四圓五十錢
本絹織紳士淑女向　九圓五十錢　女片側帶地　二圓九十錢
羽織コート着物　九圓　京柳友仙女帶地　二圓二十錢
最新式月華御召　六圓五十錢　富士絹袢纏男物　二圓
精巧縞錦紗地　七圓五十錢　銘仙大正名仙
特製セル吳地　六圓五十錢　大縞袢纏兒帶
最上絹立高貴男向　五圓二十錢　紳士兵兒帶　二圓七十錢
珍柄名仙男女向　五圓五十錢
近來弊店の信用をねたみ類似の廣告をなす者あれば御注意を乞ふ
栃木縣足利町六丁目（振替東京三五二七番）丸登足利織物合資會社

商標　たべて　くつて　おいしい　德用　『改良麥』　田代商店改良麥製造部　田代商店穀部　田代商店牛皮貿易部　釜山府榮町四　電話一二九四番　振替京城五六〇三番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます　クラブ化粧品代理店ですから　お値がお安いです　京城本町二丁目角　電話一〇二一番　振替三三七番　古城贊化堂

當銀行ハ預金貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候　京城　朝鮮銀行　振替貯金口座京城三三三番　電話六〇一番　支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、羅南、會寧、安東縣、奉天、滿南、滿洲里、齊齊哈爾、開原、四平街、鄭家屯、上海、遼陽、吉林、哈爾賓、長春、青島、大連　出張所 稱質、當口、傅家甸、龍井村、旅順、天津、鐵嶺　右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

入院隨意　京城太平町二丁目七十三（太平町大通り）　片山內科醫院　電話一九五一番　片山信夫

…降雪を見るべく全南慶南の兩道沿岸は警戒を要すべしこ

…秋山…技師の觀測…

…方共に氣迷ひに陷り…まりて…の數會を告げたり

平均値段　…

母と子（八十九）

北島春石作　森田久畫

破産（二）

そこへ、お葉が顔色を變へて立ち顯れた。

『あ！貫郎はそこに被在たんですか。わたし、先刻からどんなにお探ししたか知れませんよ。』

『お葉か。』と、雅已は不快に濁ちた眼を向けた『俺は今考へてゐる事があるんだ。別に急ぎの用事でなかつたら、暫く彼方へ行つてゐてくれ。』

『まあそんな暢氣らしいことを……何でも今日は御主人に御面會したいと、今ね、玄關へ三人も變な男が押し掛けてるんですよ。わたしが何と言つても引取らないから貫郎が談判して追拂つて下さい』

『ただ變な男だけぢや判らんが……』と、不興顔『先方の名前を聞いたらうな。』

『そんな面倒なことはしませんが、こんな大きな名刺をよこしましたよ。』

『どれ、こつちへ見せてくれ。』

お葉から突付られた名刺を見ると、雅已の面には愁はしげな蔭がかかつた。

『うむ、さうか。』と、何かなしに太い嘆息を洩して『多分今朝あたりは押し掛けようと思つてゐた……お葉、この三人を客間へ通しておけ。』

『すぐにお逢ひなさるんですか。』

『あまり喜んで逢ひたくもないがまさかに見ゐ透いた居留守も使へまい。』

『では高利貸達の手先に使はれて財産を差押へにでも來たんぢやないんですか。』

『さうだ！お前にもそれと推察されたか。』と、雅已は幸枝の冷たい手を握つたまゝ『去年の冬、會社が瓦壞したと同時に强制執行もさるべき筈を、今日までは何うやら防禦をつけて來たが……あゝ、今になつては萬事休矣だ、切めて討死だけは立派にする覺悟で、俺も今度は見苦い眞似はしまいよ』と觀念の眼をとぢた。

『だ、貫郎は……まあ貫郎と云ふ人は……』と、お葉は俄に半狂亂の體『それが今日と知れてたなら、なぜ昨夜のうちに知らせてくれないんです。おそかれ早かれ恁うなると覺悟はしてたもの、未だ今日明日まで迫らうとは思はなかつたから、やつと簞笥の物を行李に詰め替たばかり……あの着物を惜しらその鬼共に持つて行かれたら何うします。』

『は、は、は、……先方が持つて行くなら默つて渡すばかりだ。』と、最初の動搖しかけた心も落着いて雅已は人違ひせしかとばかり冷靜に還つた『岸上家の財産は親から讓られたもので、今こそ滅亡すべき運命に襲はれたのだ。それと同時に、今日からの俺は新しく生れ代り、眞の赤裸々となつて戰ひを開くのだ。なお始めてそこに氣の注いのは、五萬十萬の財産よりも尊いものと思つてくれ。』

『そんな御說法を聽いたつて何になるもんですか。』と、お葉は魂も落着かぬ狼狽眼で『さあ、もう恁うしちやゐられない。』と、庭に職上げた草履もそのまゝ、足袋跣になつて座敷の方へ驅戾つた。

その浩間しさを見送らんともせず、雅已は靜かに悲嘆を凝る眼を向けて、『幸枝、お客様がお出でなすつたと云ふから鼻渡あつちまで行つて來るが、お前は何處へも行かずと待つてゐてくれ。その代り御用が濟んだら先のお母さんをお迎へに連れに行くぞ。』

『……お母さんのところへ？』

と、幸枝は心もいそいそ『それ、ほんとうなの。』

『うむ、恁う早く迎へにこは思はなかつたが……これからが眞に意義ある生活に入れるんだ。』

『ぢや、ちつとも早く御用を達して來て、ねえ。』

『よし、よし、お前は何處へも行かずにな。』と、猶も確りと念を入れた後、雅已は老松ノ木蔭を離れた。

乳母の皺眠が子供に傳染る

其選擇と監督

嬰兒には母乳が一番宜しいが若しこれが出來なく乳母を傭ひ入れるに就ての注意は其嬰兒の發育上に於て肝要なことである、乳母を傭ふに就ての

◇注意事項 を擧ぐると身體の健康である、これが更に其の乳母は性質が温良で、多少教育があり醜くてはいけなく又乳母の容貌が醜いと、嬰兒は自然と感化されることがある、乳母の眼が皺眠みだと、嬰兒は常に乳母の顏を見てゐるから

◇眼が皺眠 みとなる場合等もある。又乳母の家庭が餘り卑しくないのを選擇すること、其年齡は二十から三十歳迄位で生母と餘り大差のないのを採る、乳の工合が適應しないからだ併し生母が四十以上なら乳母三十歳前後のが宜しい、乳母と生母との分娩期が餘り隔たぬ

◇二三箇月 位のがよい、乳質の良い量の多いのを選ぶことは論を俟たない必ず醫師の檢診を受けさせたがよいそして一度乳母を得たら、食物は最初の中は在來のものでよいが、小兒の發育上漸次榮養分に富んだものを食させる、ここで家族に對して其乳母をして

◇窮屈な思 ひをさせず、決して氣苦勞をさせてはならぬ、さもないと乳量に影響するものである、さりとて我儘の行爲をさせてはならぬ又小兒の襁褓や衣服の洗濯等は必ず乳母にさして餘裕があつたら家内の雜用をさせるもよいが雜用は餘裕の場合に限るが指導監督して寛嚴宜しきを得ないと反つて乳母をして惰弱に陷らしめることがある

日報柳壇

＝劍花坊先生選＝

城

人は城の意味時頼は知つて也　鯉口
洗城こいふ恐ろしき言葉なり　同
楠へ壁までよせてみな殺し　朝子坊
淀君の美に大阪を傾ける　同
楠の眞似毒瓦斯を發明し　梨軒
城代がだましてたべる蛸肴　同
城壁を三度めぐりて脚を撫で　艶子
城代の次席で有つて條の下　劍花坊
城門は開けたまんま琴の音　同
大石の日得勝籌の城渡し　同

日

日曜にして祭日が悔しがり　朝子坊
日めくりに風を入れてる小役人　尼介坊
隣から日の丸習ふ順送り　同
見合の日母が聞いて惚れ程度　同
待つた日が來て左程でもなかり　重春
今日と過ぎ昨日と過ぎて死に近し　同
乗程の中から紙の日の丸が　唐天生
寢床から朝刊を呼ぶ日曜日　同
三越の賣出し與の日　土呂綱
鷄林の山へ長閑な日が當り　劍花坊

日報俳壇

水無月吟社詠草（第四回）

炭燒の唄ひ歸るや冬の山　翠
暮れて物の音怖ろしや冬の山　同
目睹く鹿の遠音や冬の山　一穗
炭燒ける煙の空や冬の山　天藥
眠る山の麓にならぶ小家かな　由靖
一人々々に家さみしき冬籠かな　秋楓

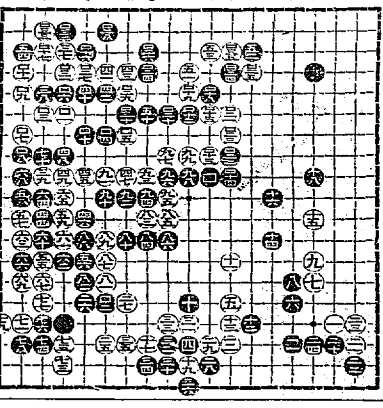
鶴翼會詠草（第一回）

鶴の葉に匂う染な田芹かな　汀村
振上げて落つる迄力鍬初め　同
籠の芹の根に滿つ帶千しけり　頑石
切れ凧の觸る國境の山なる　同
母が忌日の芹を摘むまで　頭山
切れ凧追うて畑の雪踏みか　溪水
鮭打てば火花走ける鍬初め　同
拘杞のモト三朝の逃雨に鍬入れ　撫堂
間近き鷺交る田芹かな　同

碁戰（九）

三段　山平
二子　白南　主譯

[illegible]



大阪出張員便り

▲纖類市況小康　大阪特電　市場は休戰以來相場漸落し人氣極めて安値を逆つて當用口に手當するもの多くなし投賣を防止せる爲め市場の氣配は一轉されたるの觀を呈し稍小康を得たり[illegible]一部筋が安值にて手合を見たるが米國は其後保合の狀態に[illegible]人であるが英國方面よりの情報によれば米國品よりも優良なる製品が來年六七月以降續々到來すべく[illegible]

▲上海滯貨漸增　某所著電によれば上海より日本筋の歐洲[illegible]神田帆の熊野丸を始めとし二十一日山城丸二十二日竹島丸二十四日東丸廿五日八幡丸廿九日近江丸[illegible]一掃に努むるよしである右永陵丸外三菱の傭船は主として長崎、名古屋兩港に仕向けらる、棉花[illegible]對する各國の買附高は十四日迄に四百八十萬擔に達して居る即ち本月四日迄の買附高は三百萬擔なりの内一千四百八十萬擔は既に買附濟となり殘餘僅に四百二十萬擔に過ぎざるを以て勢ひ瓜哇糖は先行あると尙別電によればバンコック製ボイラー及び附屬品の價格を左の如く引上げて來たと(各一臺[illegible])右によれば附屬品は何れも倍額に引上げられボイラーの如きも約七割の高値であるから倶合[illegible]

[illegible]

讀者の領分

[illegible]

▲ばら色……の鮮かに美しい顔色……と

桃谷研究試驗所創製

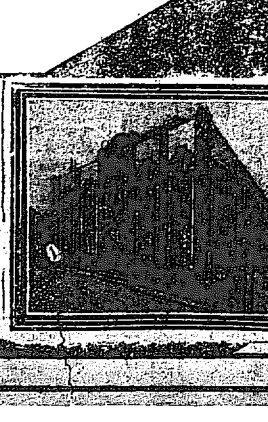
美顔ユーマー

▲第一回の使用……ユーマーを唯の一度お用ひになるだけでも、其の一日の顔色の美しさ、氣持の好さは何とも申されません。ユーマーのこの作用は、どなたにもよく分りそしてお氣に召されます。

▲二回、三回、四回……度重なるにつれユーマーは彌々巧妙の作用を現します。皮膚が軟やかに肌理が整ひ、いつ見ても見るから氣持のよい、鮮かに美しい顔色は、誠に美しさの頂上で御座います。

▲化粧下と荒れ止……この外にも、ユーマーが化粧下として此上なく好い事、及び荒れを防ぐ効用と日焼けを防ぐ効用の優れてゐる事はお用ひになつた方々の御承知の事で御座います。ユーマーはこれで一層重寶なものとなつて居ります。

光榮ある御化粧料三十六種の内



發賣化粧料三十六種を創製したる

桃谷研究試驗所

▲所長　藥學士　桃谷幹次郎
▲技師　理學士　西澤勇志智
▲同　醫學士　米倉昌達
▲同　藥學士　小磯靜次郎
▲同　千葉藥學士　齋藤鋭助
▲顧問　藥學博士　丹波敬三氏
　　　　醫學博士　山本淳二氏

優良化粧用

アカシヤ石鹸

SOAP ACACIA

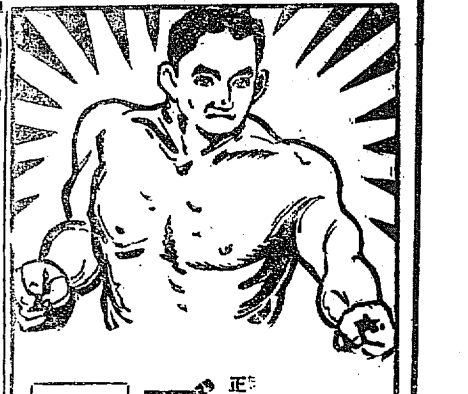
大連　萬玉洋行

七日ツケタラ鏡ヲごらん色白くなるゲンソ液

小壜二十錢　徳用四十錢

今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔日ヤケ白粉ヤケアレ丸防ぎキメをコマかに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す送料内地八錢滿鮮三十錢

東京神田和泉橋　松本藥店



帝國醫科大學病院及各府縣立病院に於て國產フエラトーゼとして盛に賞用されつゝあり

正しき補血強壯增進劑

ブルトーゼ

種類
補血強壯發揚劑ブルトーゼ
神經性疾患特効劑アルゼンブルトーゼ
腺病性疾患特効劑ヨードブルトーゼ
呼吸器系疾患特効劑グアヤコールブルトーゼ
健胃性補血強壯劑キナブルトーゼ

一瓶容量二五〇瓦入（半月分）
各地藥店にあり
說明書進呈

發賣元　大阪道修町　東京本町　藤澤友吉商店

りん病　請合
はい毒　請合

ドラッグ商會本部
ドラッグ商會支店